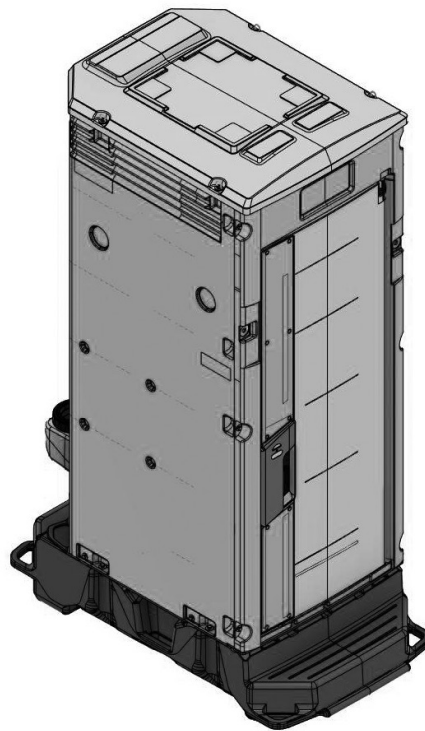


使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

MINORU

エコットトイレ
M2

取扱説明書



はじめに

- このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 本製品は、工事現場やイベント等で利用する仮設トイレです。
- 使用目的以外の作業や改造はしないでください。
- 本書は、本製品の正しい取り扱い方法と点検、整備などについて説明しております。
- ご使用される前には本書を必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- 本製品を貸与または譲渡される場合は、相手のかたに本製品のドアフレームに貼り付けのQRコードから本書をダウンロードしていただき、内容を十分理解していただいてから、お渡してください。
- 本書に従った本製品の正しい取り扱いや、点検・保守をしていただくことを推奨いたします。注意事項に従わず何らかの損害が発生した場合、保証の対象外となりますのでご注意ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上の観点から、告知なく使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容およびイラストなどの一部が本製品と一致しない場合もありますことを、ご了承ください。
- 本書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

表示	重要度
 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示しています。
 重要	この項目に従わなかった場合、物的損害をこうむるおそれのあるものを示しています。 また、本製品の性能を発揮させるための基本的な事項を記載しています。よく読んで本製品の性能を最大限発揮してご使用ください。

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

安全重要ポイント

本製品を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しています。十分に熟読されて、安全な作業を行なってください。

1. 本製品の設置を行なうときは、
水平な場所へ設置します。
2. 本製品の室内に、
たばこや火気を持ち込まないようにします。
3. 本製品を、
改造しません。

本製品をご使用になる時は、復唱してください。

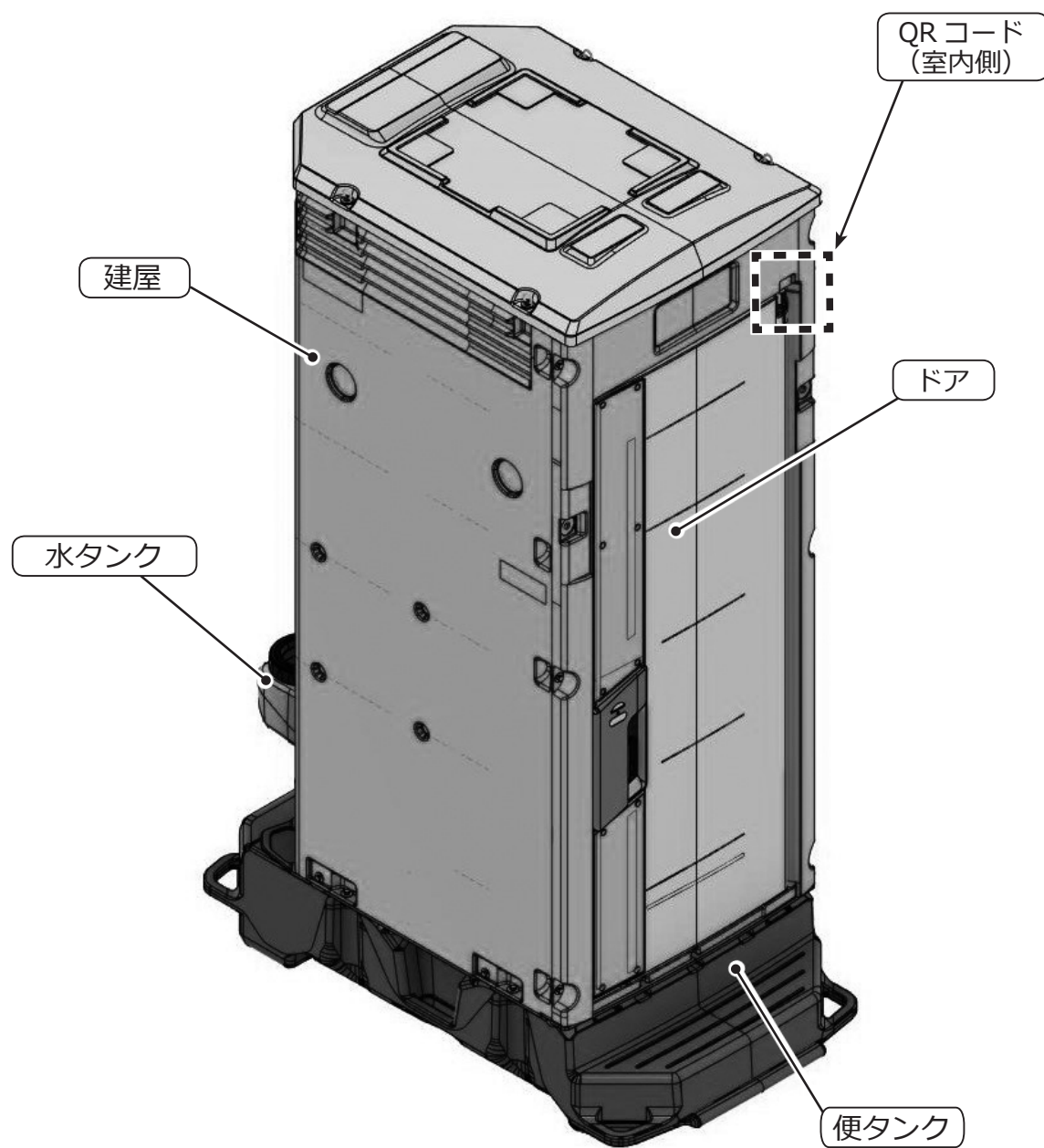
安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要安全ポイントは上記のとおりですが、これ以外にも本文の中で安全上ぜひ守っていただきたい事項を  を付けて説明しております。

よくお読みいただいて、必ず守っていただくようお願いいたします。

目次

各部の名称	1	組み立てのしかた	
各部のはたらき	2	【本水洗和式】	22
建屋	2	付属品確認	22
ドア	2	建屋の組み立て	22
便タンク	2	ペーパーホルダー取付位置	24
ドアロック	3	組み立てのしかた	
照明	3	【本水洗男子小用】	26
ペーパーホルダー	4	付属品確認	26
水タンク	4	建屋の組み立て	27
ポンプ	5	水勢の調節	30
安全に作業するために	6	建屋ドアの取り外し	31
安全表示ラベル	8	ドアの取り外し	31
お手入れ	9	ドアの取り付け	32
便器の清掃	9	運搬・設置について	33
建屋の清掃	9	運搬車への積み込み、	
組み立てのしかた		積み下ろし	33
【簡易水洗和式（半組）】	10	設置について	33
付属品確認	10	設置スペースの	
建屋の組み立て	11	確保について	34
組み立てのしかた		保管について	35
【簡易水洗洋式（半組）】	12	保管場所について	35
付属品確認	12	点検整備	36
建屋の組み立て	13	水タンク	36
組み立てのしかた		汚物のたまり具合の確認 ..	36
【簡易水洗男子小用（半組）】	15	照明	36
付属品確認	15	ドアの点検	36
建屋の組み立て	16	ドアロック	36
組み立てのしかた【本水洗】		サービス資料	37
水洗架台の組み立て	18	サービスネット	37
組み立てのしかた		補修用部品供給期間	37
【本水洗洋式】	19	主要諸元	37
付属品確認	19	消耗品・オプション	38
建屋の組み立て	20		

各部の名称



各部のはたらき

■ 建屋

便タンクの上に乗せて設置します。

⚠ 警告

- 本製品を設置するときは、地盤の安定した突起物などのない安全な場所に、水平に設置してください。不安定な場所や傾斜した場所に設置すると、転倒によるけがや破損の原因になります。

■ ドア

建屋に取り付けて使用します。

⚠ 注意

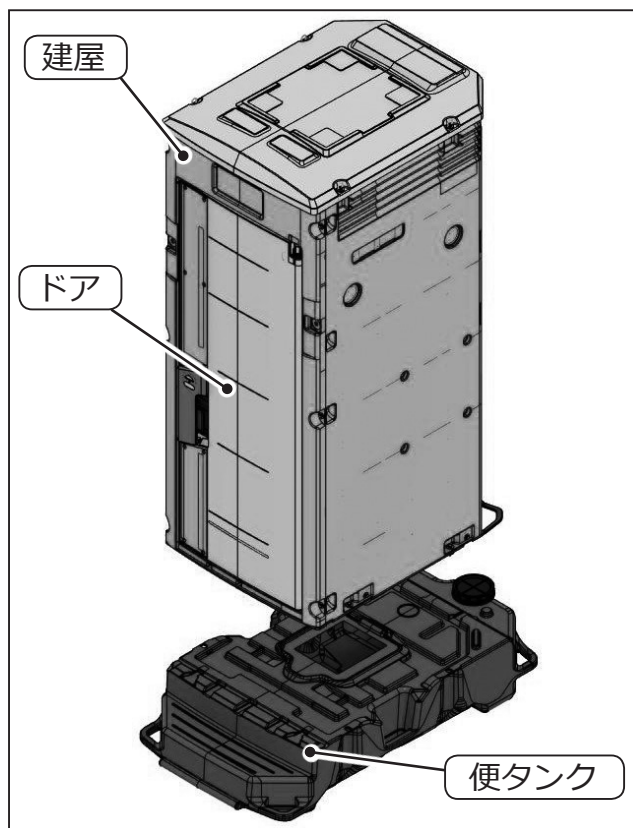
- ドアを取り付けるときは、必ず軍手もしくは手袋を着用してください。ドアに挟まれたり、バネの取り外しで事故を起こすおそれがあり、大変危険です。

■ 便タンク

汚物がたまります。

くみ取り蓋を開けて汚物のたまり具合を確認してください。

便タンクが満杯になる前にし尿収集を依頼してください。



各部のはたらき

■ドアロック

本製品使用中、ドアロックをかけて使用します。

室内側のツマミを回すことで、施錠・解錠することができます。

「解錠」…室外表示：緑

「施錠」…室外表示：赤

また、ドアを取り付けた状態で本製品を運搬する場合もドアロックをかけます。

室外表示下にある穴へマイナスドライバーを差し込み、回してください。
左へ回すと施錠し、右へ回すと解錠します。

⚠ 警告

- ドア付きの本製品を移動（運搬）するときは、必ずドアを施錠してください。衝撃が加わりドアがはずれ、思わぬけがや事故を起こすおそれがあり、大変危険です。

重要

- 寒冷地では冬場にドアロックが凍結する場合があります。凍結時にドアを無理に開けようとするとドアロックが壊れるおそれがあります。凍結した場合は、60℃以下のお湯をゆっくりと少しずつかけて解凍してください。

■照明

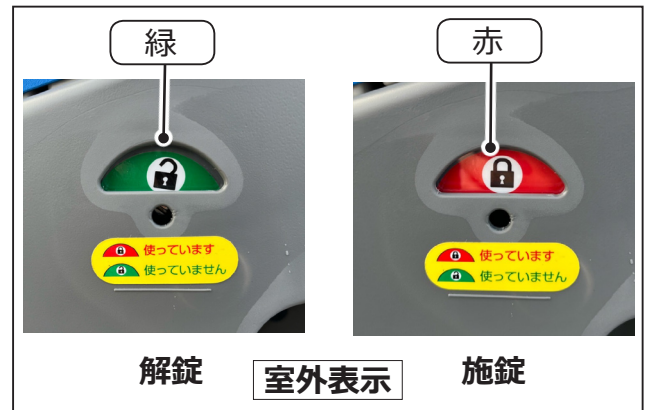
本製品のドアを開けて右上に設置しています。人を感知すると照明が点灯します。

⚠ 警告

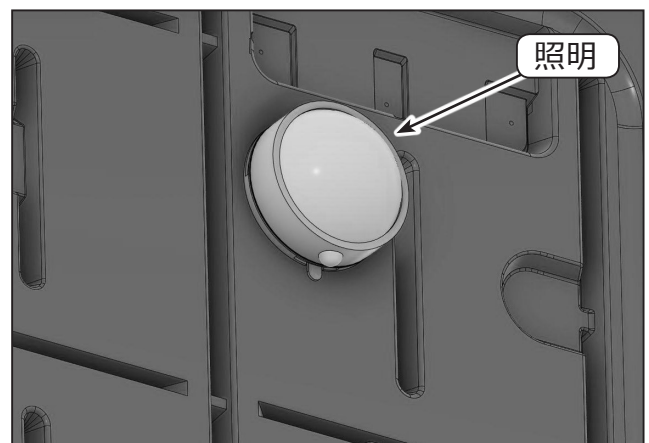
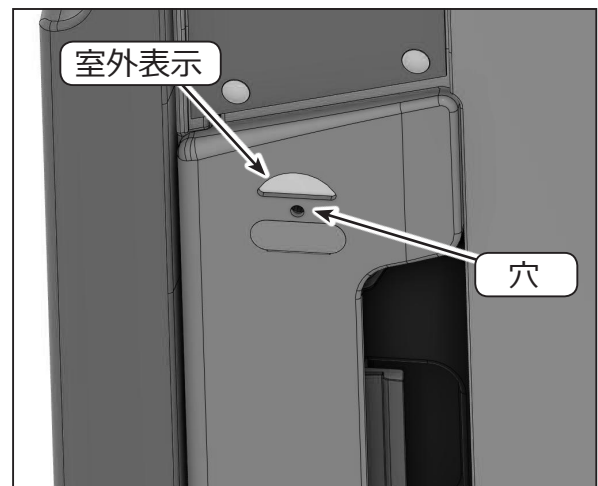
- 照明カバーに物をかけないでください。破損、火災の原因になります。

重要

- 照明の電池交換、点灯時間の設定変更等は照明の取扱説明書を確認し、行なってください。
- 照明の電池は別売りです。単1 アルカリ電池×3本を別途お求めください。



室外からの施錠・解錠



各部のはたらき

■ペーパーホルダー

トイレットペーパーをセットして使用します。トイレットペーパーをセット・交換するときは、下から上へトイレットペーパーを持ち上げるようにして取り付けてください。

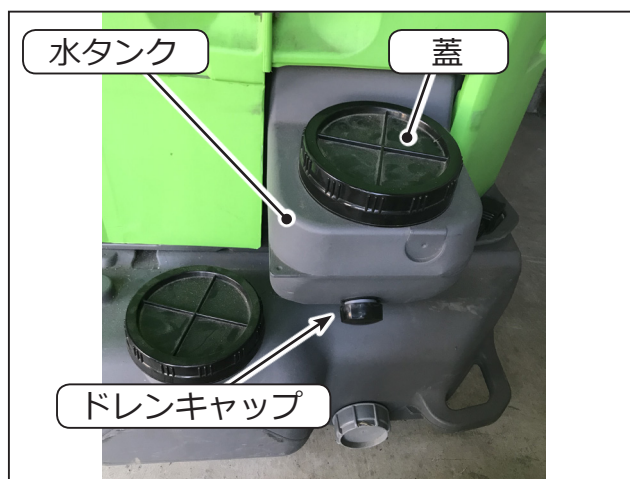


■水タンク

簡易水洗式の製品には、便器に流すための洗浄水を貯めておく水タンクがあります。タンク内の水が減っている場合は、以下の手順で補給してください。

- ①水タンクの蓋を開けます。
- ②満水になるまで給水します。
- ③蓋をしっかり締めます。

※水タンクに残っている水を排水する場合は、排水用のドレンキャップを開けて、排水してください。



重要

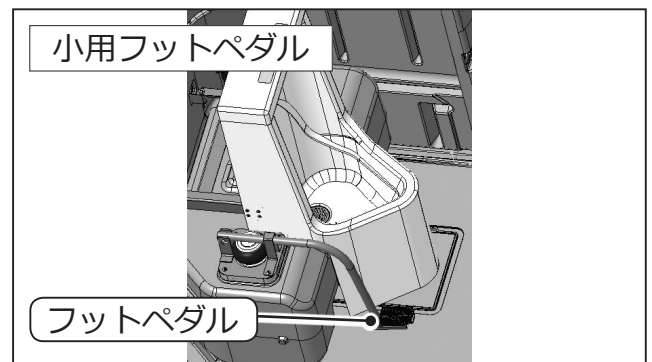
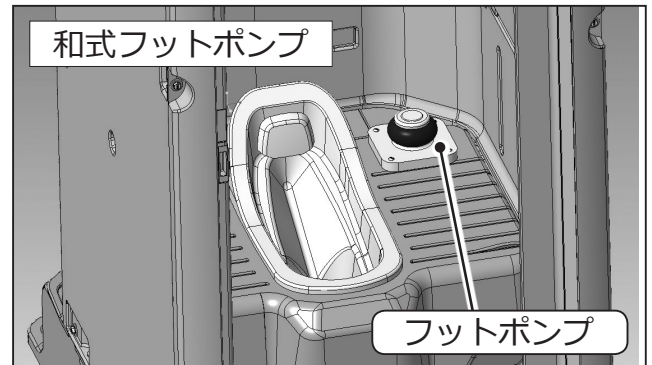
- 給水には水道水を使用してください。また給水には、当社指定の消臭剤以外は使用しないでください。
指定以外の薬剤を使用すると、配管の詰まりや破損の原因になります。
- 水タンクは毎日点検し、水が減っている場合は満水になるまで給水してください。使用量は、ご利用者の使用状況により大きく異なる場合がありますので、できるだけこまめに点検してください。
- 気温が氷点下になる場所で使用するときは、水タンク内の水を排水してください。水が凍結すると、配管の詰まりや破損の原因になります。

各部のはたらき

■ポンプ

トイレ使用後に排泄物を便タンクへ流します。

- 和式 … 和式フットポンプ
- 洋式 … 洋式ポンプハンドル
- 小用 … 小用フットペダル



安全に作業・使用するために

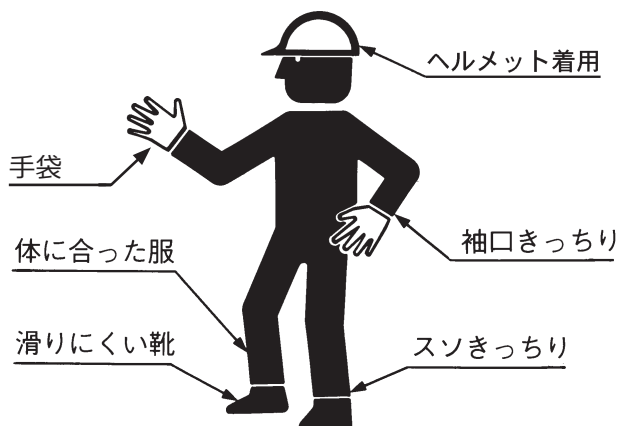
本製品の安全に関わる特性を、以下に記述します。内容を十分に理解された上で、安全に作業してください。

1. 安全指示の順守

- 本製品を使用する前に必ず、本書および本製品に貼ってある安全表示ラベルをよく読み、理解した上で作業してください。
- 本書および安全表示ラベルの内容が理解できない人や子供には絶対に作業をさせないでください。
- 本製品を他人に貸す時、また他人に作業を依頼する時は、取扱方法をよく説明し、本書を熟読するように指導してください。

2. 作業に合った服装および健康状態

- 設置作業をする時は、だぶついた衣服を着用しないでください。回転部に引っかかり事故の原因になります。
- 滑りにくい靴を着用し、必要に応じて、安全靴、手袋などを使用してください。



- お酒を飲んでいる方、睡眠不足の方、過労、病気の方は作業しないでください。

3. 子供が近づくのは危険

- 点検・整備中および設置作業中、本製品に子供を近づけないでください。見えないところで機械に触ったりかかれていたりして大変危険です。

4. 使用前の準備・点検

- 使用する前の準備・点検は必ず行なってください。これを怠ると、使用中に思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

5. 組み立て作業中の注意

- 組み立て作業中は、作業員以外の方は本製品に近づかないでください。傷害事故を引き起こす原因になります。
- 組み立て作業を開始する時は、周囲の安全を十分確認してください。特に補助者と共に作業をする時は、声を掛け合って安全を確認してください。これを怠ると思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

6. 点検・整備時の注意

- 本書（36 ページ）に従って点検を実施してください。
- 点検・整備を行なう時は、適正な工具を正しく使用してください。これを怠ると、整備中の事故や整備不良による思わぬ事故を引き起こすおそれがあり、大変危険です。
- 油やグリスが付着していたら、ふき取っておいてください。また油類が漏れたらすぐに拭き取り、点検を行ってください。

安全に作業・使用するために

- 本製品の改造は、絶対にしないでください。機械の故障や事故の原因になり大変危険です。
- 点検・整備で取り外したカバー類は、必ず元どおりに取り付けてください。

7. 取り扱いの注意

- 本製品に登ったり、ぶら下がったり、内壁に寄り掛かるなどして、建屋を傾けないでください。本体が転倒し、けがをしたり、破損したりするおそれがあります。
- 本製品を引きずらないでください。本体が転倒し、けがをしたり、破損したりするおそれがあります。
- 便座や部品は当社指定の物を使用してください。市販品をご利用になりたい場合は、販売店または最寄りの営業所にお問合せください。
- 台風などに備え（転倒防止のため）適切な耐風養生等をしてください。けがや破損の原因になります。
- 市販品の中性洗剤また当社指定の消臭剤以外は使用しないでください。本体を傷める可能性があります。

●火気厳禁

- 室内に火のついたたばこや火気を持ち込まないでください。また、本製品に火気を近づけたり、可燃性スプレーを近くで使用したりしないでください。
- 寒冷地などでヒーターを使用する場合、樹脂部に近づけないでください。変形や引火のおそれがあります。

●改造禁止

- 修理技術者以外は分解、修理をしないでください。火災、感電、けがのおそれがあります。

●専門業者への依頼

- 電気工事などは必ず専門業者に依頼してください。火災、感電、けがのおそれがあります。
- 給排水工事が必要な製品は必ず専門業者に依頼してください。水漏れ、故障、けがのおそれがあります。

●本体への釘打ちなど禁止

- 本体にボルト、釘打ちなどをしないでください。亀裂や破損、釘でけがをするなどのおそれがあります。

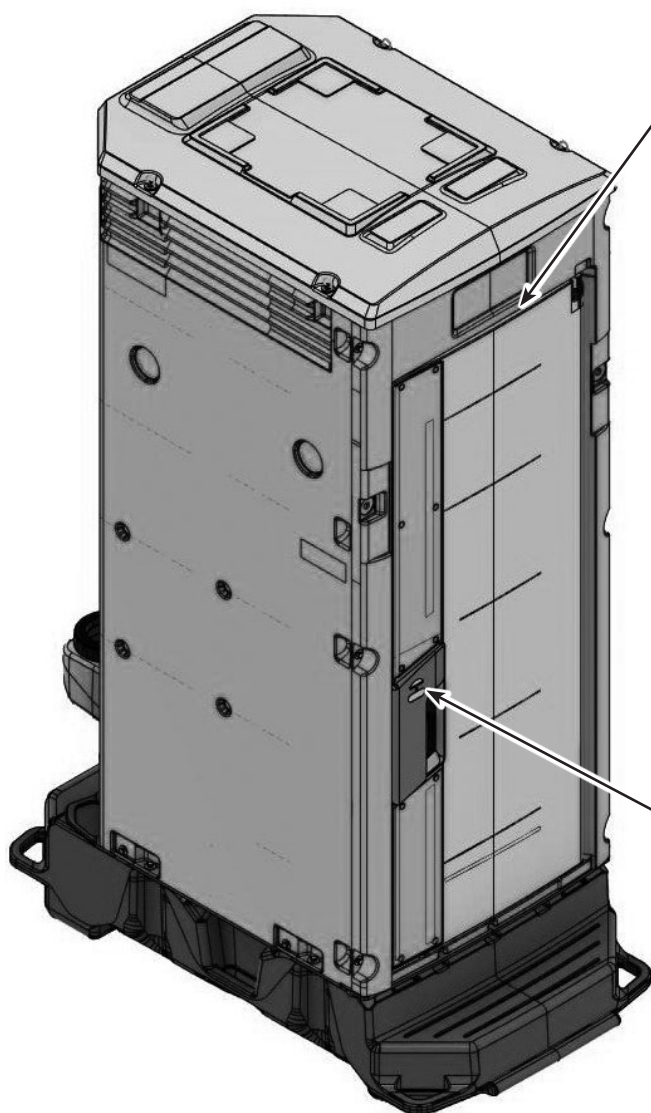
安全表示ラベル

- 本製品には、安全に作業していただくために安全表示ラベルを貼り付けています。
必ずよく読み、これらの指示に従ってください。
- 安全表示ラベルが破損したり、はがれたり、読めなくなった場合は、販売店に連絡し、交換してください。
- 汚れた場合は、きれいにふき取り、いつでも読めるようにしてください。
- 安全表示ラベルが貼り付けてある部品を交換する場合、同時に安全表示ラベルも購入してください。



【室内側】

ドアクローザーステッカー
ECOT1-20107



【室外側】

ドアロックステッカー
ECOT1-18459



お手入れ

ご利用者がいつでも安全かつ快適にご利用できるよう、日常的なお手入れが必要となります。使用前には必ず清掃を行なってください。

⚠ 警告

- 日常清掃を行なう時は、ボルト等を含む製品構成部材でけがをしないよう、厚手のゴム手袋等、保護具を必ず着用してください。
- 必要に応じてマスクや長靴などを着用してください。

● 便器の清掃

洗剤は下記を参照してください。清掃は、柔らかい布やスポンジ等を使用してください。室内清掃を行なうときは、照明器具等の電気機器およびトイレットペーパーが濡れないようにしてください。

【陶器便器】

○：市販の家庭用洗剤（弱酸性・アルカリ性・中性）

⚠ 警告

- 家庭用洗剤に「まぜるな 危険」と表示している製品を使うときは、必ず単独で使用してください。
- 洗剤を使用して清掃を行なうときは、必ず換気をしてください。
- 使用洗剤の注意事項をよく読み、正しく使ってください。

×：研磨剤入りの洗剤

×：業務用の強酸性・強アルカリ性洗剤

×：フッ素系洗剤（フッ化水素・フッ化アンモニウム）

【樹脂便器】

○：市販の中性洗剤

×：研磨剤入りの洗剤

×：シンナー・ベンジンなどの溶剤

×：酸、アルカリ、熱湯など

×：アルコール

⚠ 注意

- ×の物を使用すると製品を傷つけたり、変色したりすることがありますので、使用しないでください。

【本体（内外壁・床）】

○：市販の中性洗剤

● 建屋の清掃

清掃は、柔らかい布やスポンジ等を使用してください。

組み立てのしかた【簡易水洗和式（半組）】

⚠ 警告

- 本製品を設置するときは、地盤の安定した突起物などのない安全な場所に、水平に設置してください。
- 電気工事などは必ず専門業者に依頼してください。
- 給排水工事が必要な製品は必ず専門業者に依頼してください。
- 改造をしないでください。
- 本製品にボルト、釘打ちなどをしないでください。
- 本体を引きずらないでください。
- 台風等に備え（転倒防止のため）適切な耐風養生等をしてください。
- 洗浄水には水道水を使用してください。異物の混入した水は故障の原因となります。消臭液や凍結防止剤を使用する場合は、メーカー記載の注意事項をお守りください。
- 給水タンクの蓋は、水平に過剰な力を入れずに締めてください。これらを怠ると、死亡事故や傷害事故につながるおそれがあります。

■はじめに

エコットトイレがお手元に届きましたら、すぐ下記の点についてご確認ください。
万一、欠品・不良などがございましたら、お買い求め頂いた販売店までご連絡ください。

- 輸送中の事故等で破損個所がないか
- ネジ類や部品が緩んでいないか
- 下記付属品が全てそろっているか

■付属品確認【簡易水洗和式（半組）】

下記、付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【付属品】

便タンク	1セット
水タンク・和式便器Assy	1セット

【半組 付属品】

六角ボルト M8×45	4本
スプリングワッシャー付	
平座金 8.5×30×t2.5	8枚
ナット M8	4個
ペーパーホルダー（付属ネジ3本）	1セット

⚠ 警告

- 本製品を設置するときは、必ず軍手もしくは手袋を着用して作業をしてください。バネ等の部品でけがをするおそれがあります。

半組の場合は建屋から便タンクと水タンク・和式便器 Assy を取り出してください。

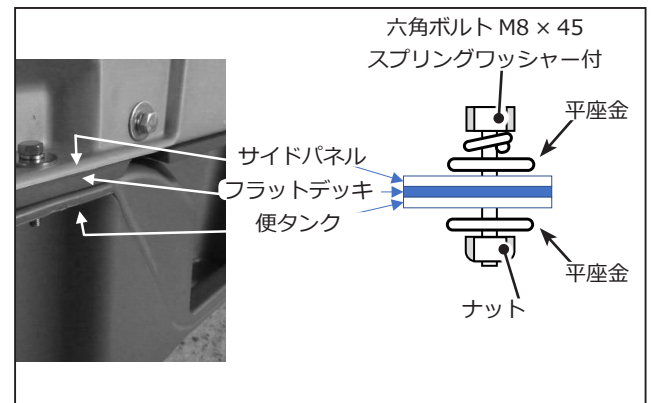
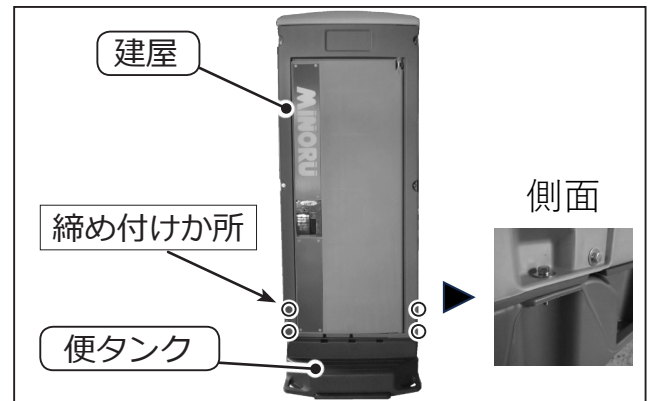


便タンク 水タンク・和式便器 Assy

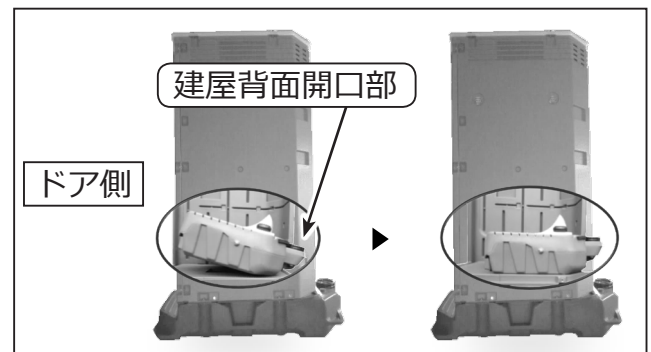
組み立てのしかた【簡易水洗和式（半組）】

■ 建屋の組み立て【簡易水洗和式（半組）】

- ① 建屋を便タンクの上に乗せます。
- ② 六角ボルト M8 × 45 スプリングワッシャー付 へ平座金を入れて、上（サイドパネル）から差し込みます。
- ③ 建屋、便タンクを通して平座金を取り付け、ナットで締め付けます。
（○印 4 ヶ所）

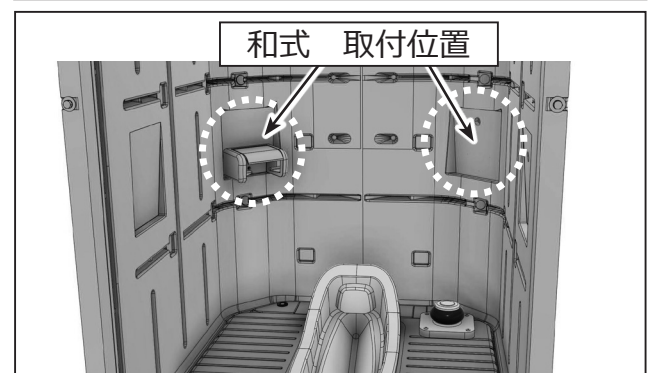


- ④ 水タンク・和式便器 Assy の蓋が、建屋背面開口部をくぐるよう少し斜めに差し込み、建屋奥に据え付けます。



- ⑤ ペーパーホルダーは、建屋前方、丸点線のいづれかに取り付けてください。

建屋壁に取り付けガイド（丸い凹み）があります。丸い凹みとペーパーホルダーの取付穴を合わせてセットし、付属のネジで 3 カ所をとめてください。



重要

- 取り付け位置が低すぎると、ネジがサイドパネルを貫通するおそれがありますので、丸印の凹みを基準にしてください。

組み立てのしかた【簡易水洗洋式（半組）】

■付属品確認【簡易水洗洋式（半組）】

下記、付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【付属品】

便タンク	1セット
YD水タンク（85ℓ）	1セット
洋式便器・便座	1式

【簡易水洗洋式 半組付属品】

六角ボルト M8×45 スプリングワッシャー付	4本	} ASSY
平座金 8.5×30×t2.5	8枚	
ナット M8	4個	
ワンタッチペーパーホルダー（付属ネジ 3本）	1セット	
ボルトキャップ	2個	
便器固定用ボルトセット	2セット	
床フランジ取り付けトラスタッピンネジ M4×25	4本	
ホースクリップ	1個	
ポンプハンドルセット	1セット	
床フランジ	1個	

半組の場合は建屋から便タンクと YD 水タンク（85 ℓ）、洋式便器・便座、ポンプハンドルセットを取り出してください。



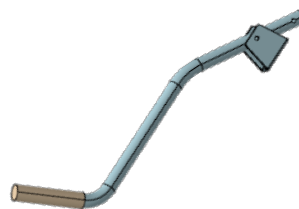
便タンク



YD 水タンク（85 ℓ）



洋式便器・便座



ポンプハンドルセット

組み立てのしかた【簡易水洗洋式（半組）】

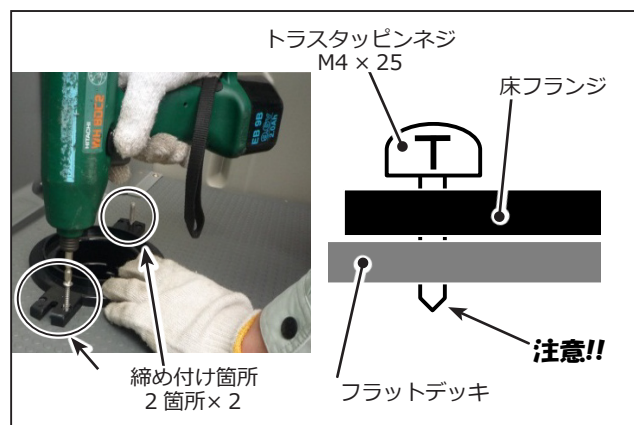
■建屋の組み立て【簡易水洗洋式（半組）】

①～③までは簡易水洗和式と同様に組み立ててください。（11 ページ参照）

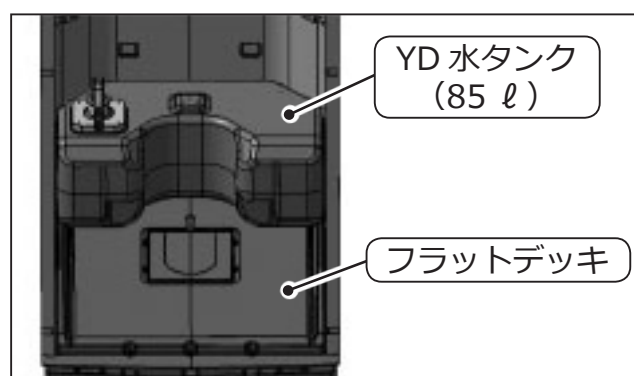
④ フラットデッキの丸穴に床フランジを差し込み、床フランジ取り付けトラスタッピンネジ M4 × 25 で 4 か所を締め付けます。

⚠ 注意

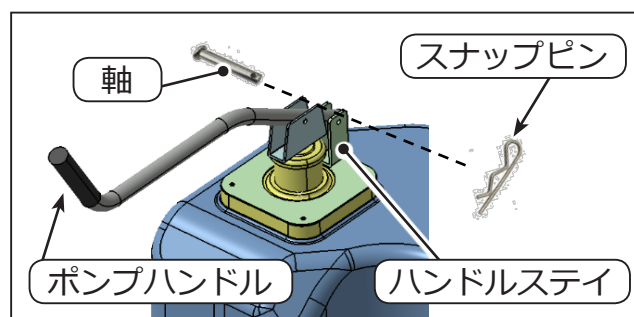
● 床フランジを取り付けるときは、フラットデッキの下側に少しネジ部が出ますので、取り扱いには十分お気をつけください。



⑤ 右図のように YD 水タンク（85 ℓ）を建屋内へ差し込みセットします。（11 ページ 簡易水洗和式④を参照）

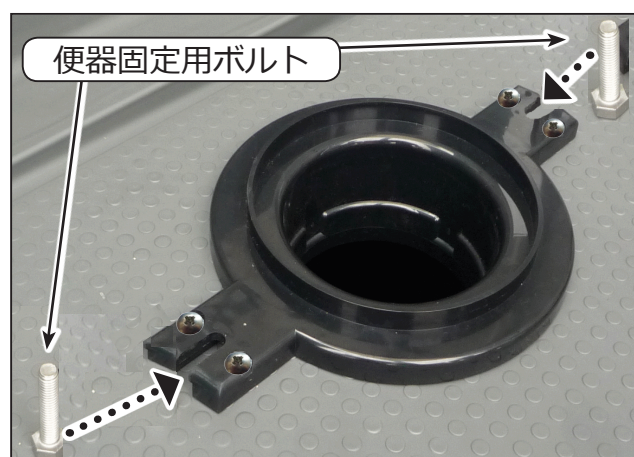


⑥ ポンプハンドルをハンドルステイに付属の軸とスナップピンを使用して取り付けます。
※ポンプハンドルの向きに注意して取り付けてください。右図のように取り付けてください。



⑦ 床フランジの便器取り付け穴に沿うように便器固定用ボルトをはめ込みます。

便器固定用ボルト		
六角ボルト	M8×40	2本

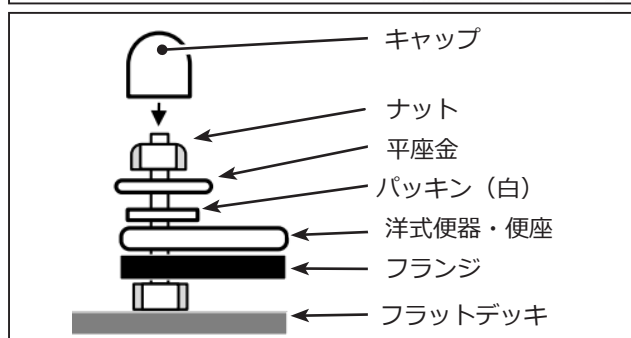


組み立てのしかた【簡易水洗洋式（半組）】

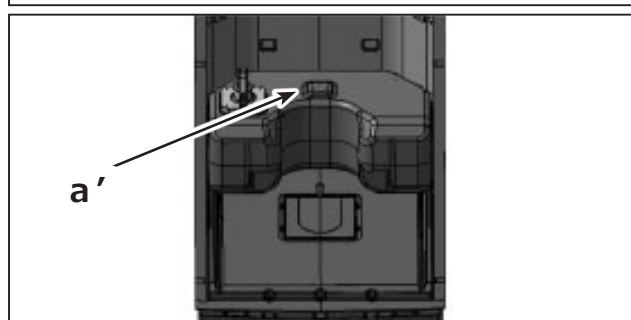
- ⑧ はめ込んだ便器固定用ボルトを洋式便器・便座側面の穴に通し、洋式便器・便座を取り付けます。



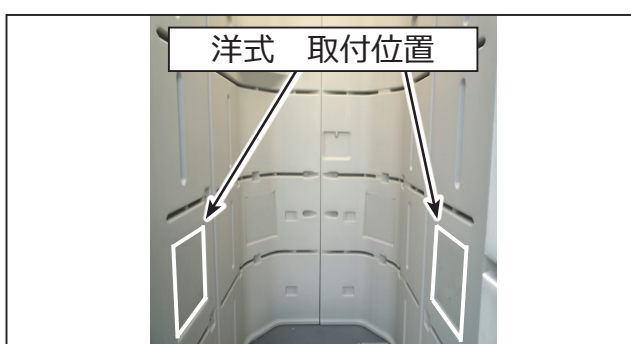
- ⑨ パッキン（白）、平座金、ナットの順で洋式便器・便座を固定し、キャップをはめます。



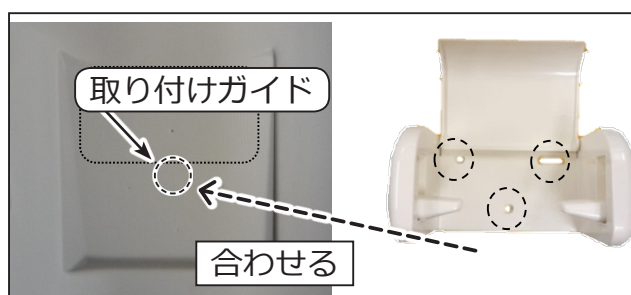
- ⑩ 洋式便器・便座のホースを YD 水タンク（85 ℓ）の a' に連結してホースクリップ(⑧参照)で固定してください。



- ⑪ ペーパーホルダーは、建屋入口付近の横壁、白線囲み箇所のいずれかに取り付けてください。



- ⑫ 建屋壁に取り付けガイド（丸い凹み）があります。丸い凹みとペーパーホルダーの取付穴を合わせてセットし、付属のネジで 3 カ所をとめてください。



重要

- 洗浄等で便タンクと建屋を切り離して建屋を置く場合は、床パネルからウジ上がり防止部品が出ておりますので、スポンジや段ボール等で保護していただき、つぶれないようにしてください。

組み立てのしかた【簡易水洗男子小用（半組）】

■ 付属品確認【簡易水洗男子小用（半組）】

下記、付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【付属品】

男子小用便器固定セット	1セット
便タンク	1個
男子小用便器Assy	1式
Y D水タンク（85 ℓ）	1個
フットペダル	1式

【簡易水洗男子小用 半組付属品】

六角ボルト M8×45 スプリングワッシャー付	4本
平座金 8.5×30×t2.5	8枚
ナット M8	4個

半組の場合は建屋から便タンクと YD 水タンク（85 ℓ）、男子小用便器 Assy、フットペダルを取り出してください。



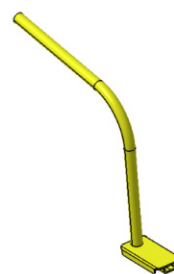
便タンク



男子小用便器 Assy



YD 水タンク（85 ℓ）



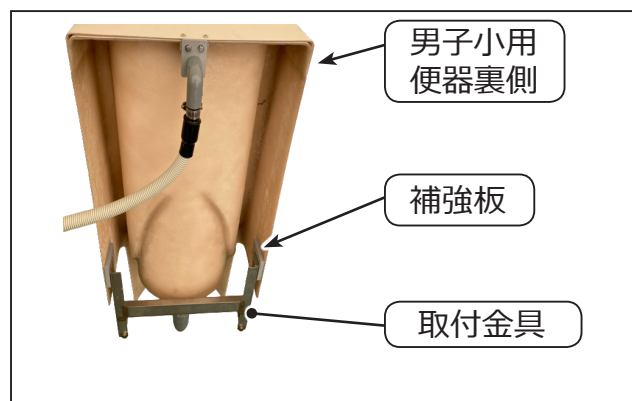
フットペダル

組み立てのしかた【簡易水洗男子小用（半組）】

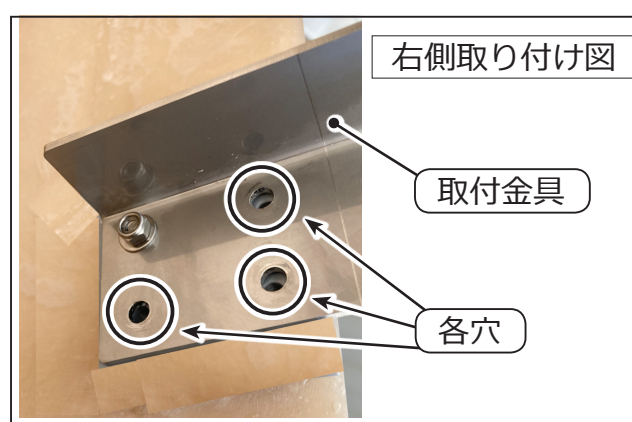
■ 建屋の組み立て[簡易水洗男子小用(半組)]

①～③までは簡易水洗和式と同様に組み立ててください。(11 ページ参照)

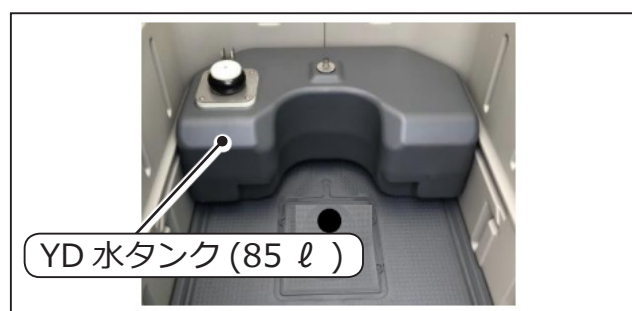
④ 男子小用便器裏側に取り付金具の一部が取り付けられています。
取付金具は補強板に取り付けられ、折りたたまれています。



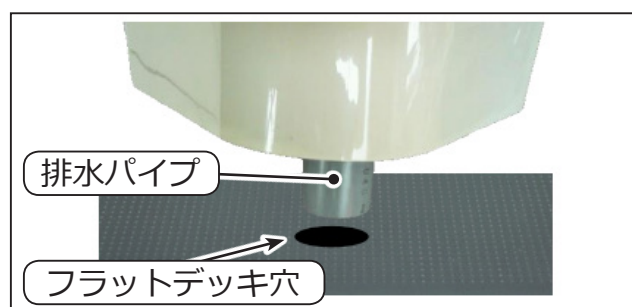
折りたたまれている取付金具を上方へのばし、各穴の位置を合わせて、ボルト・座金・U ナット M8 で固定してください。



⑤ 建屋に YD 水タンク (85 ℓ) をセットします。(11 ページ 簡易水洗和式④ 参照)



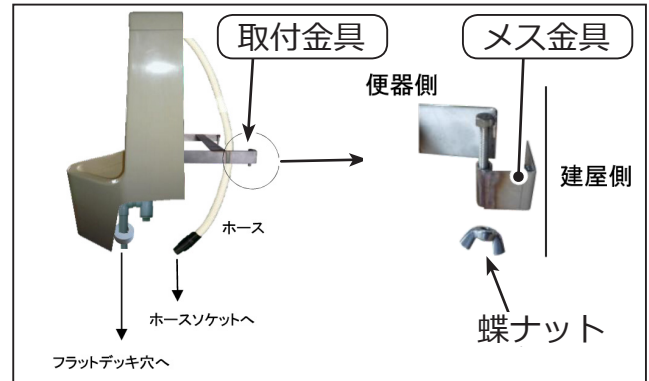
⑥ フラットデッキ穴に、男子小用便器の排水パイプを差し込みます。
男子小用便器に取り付けているスポンジとフラットデッキに隙間がないように取り付けます。
※隙間があると臭いがもれるときがあります。



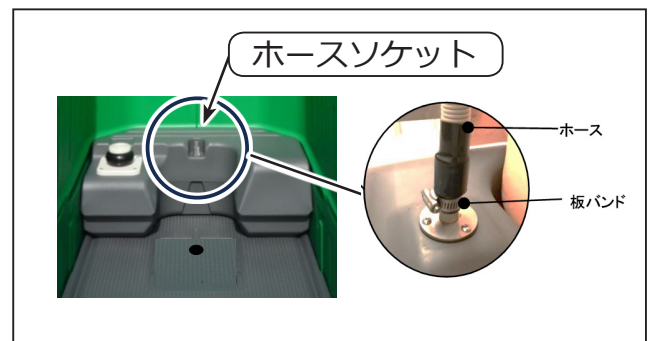
組み立てのしかた【簡易水洗男子小用（半組）】

■ 建屋の組み立て[簡易水洗男子小用（半組）]

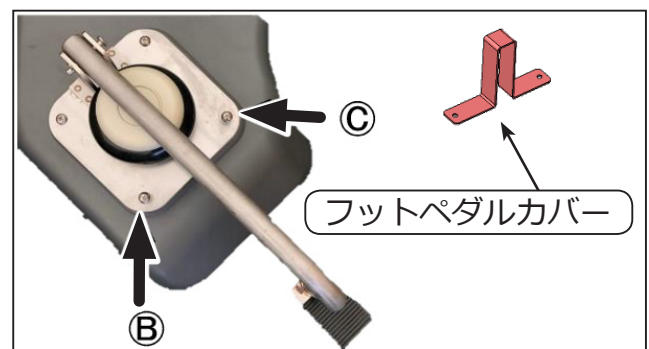
- ⑦ 男子小用便器背面の取付金具のボルト部分をメス金具のカラーへ差し込み、蝶ナットで締め付けてください。



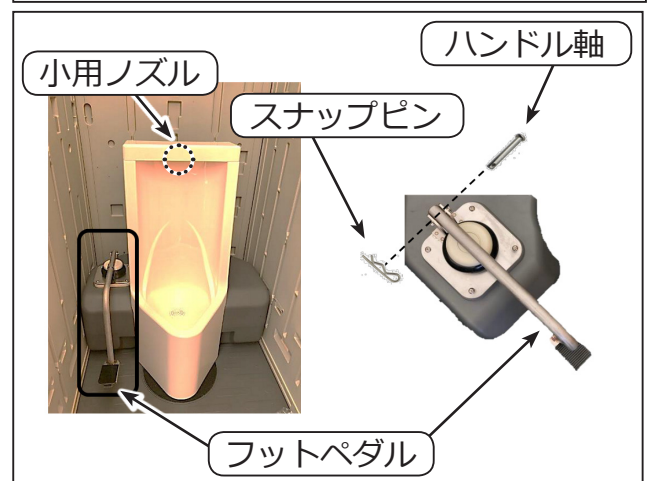
- ⑧ 男子小用便器後面のホースを YD 水タンク（85 ℓ）中央のホースソケット部の根本まで差し込み、板バンドでとめてください。



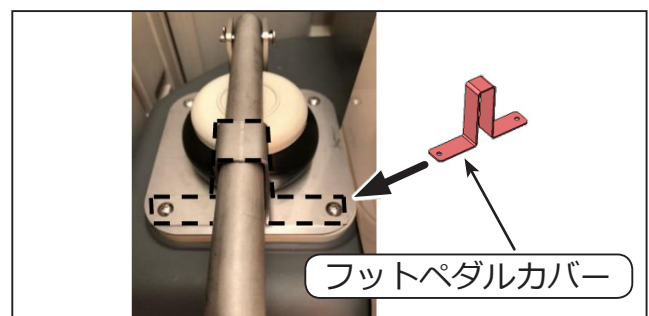
- ⑨ ⑧、⑨部のボルトを外して、フットペダルカバーを取り外してください。



- ⑩ フットペダルをスナップピン、ハンドル軸で取り付けます。



- ⑪ ⑨で取り外したフットペダルカバーをフットペダルにかぶせ、⑨で取り外したボルトで締結します。
組み付け後、フットペダルを踏んで、小用ノズルから空気が出ることを確認してください。



組み立てのしかた【本水洗】

■水洗架台の組み立て

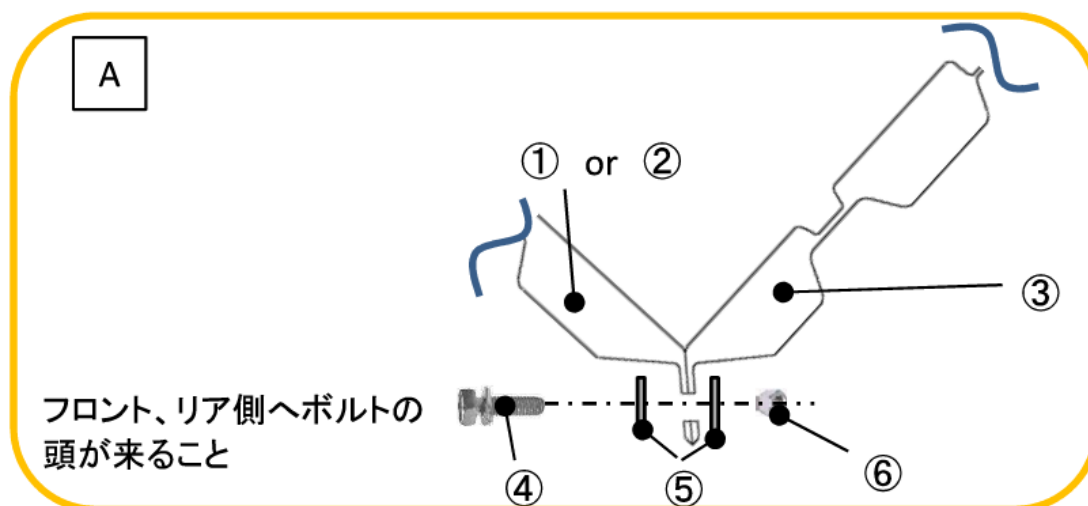
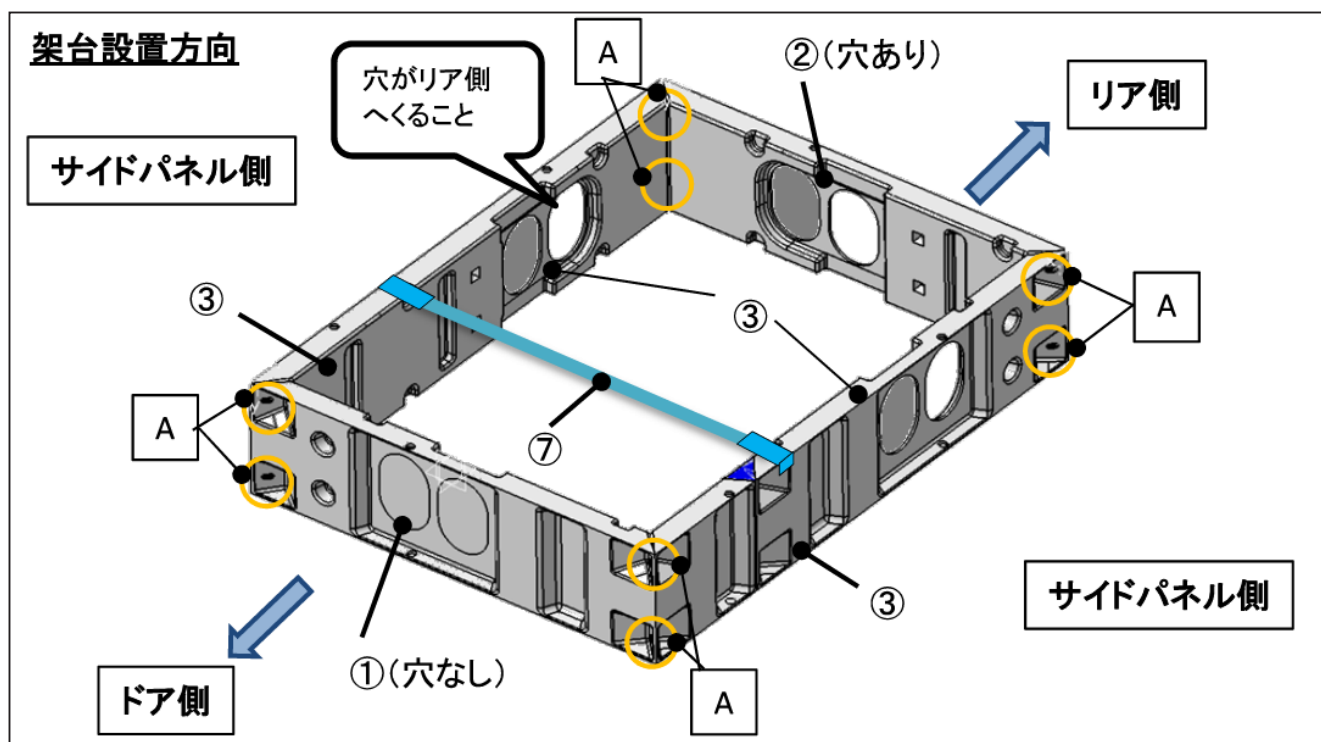
[本水洗洋式・本水洗和式・本水洗小用]

下記、付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【付属品】

①フロントパネル（穴なし）	1枚
②リアパネル（穴あり）	1枚
③サイドパネルL/R（穴あり）	2枚
④ボルト（M8×35） SW付き	8本
⑤平座金（8×22×1.6）	16個
⑥ナット（M8）	8個
⑦補強パイプ(改)	1本

水洗架台を下図のように組み立てます。



組み立てのしかた【本水洗 洋式】

■付属品確認【本水洗 洋式】

下記、付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【付属品】

本水洗架台	1セット
洋式便器・便座	1セット
ワンタッチペーパーホルダー	1セット



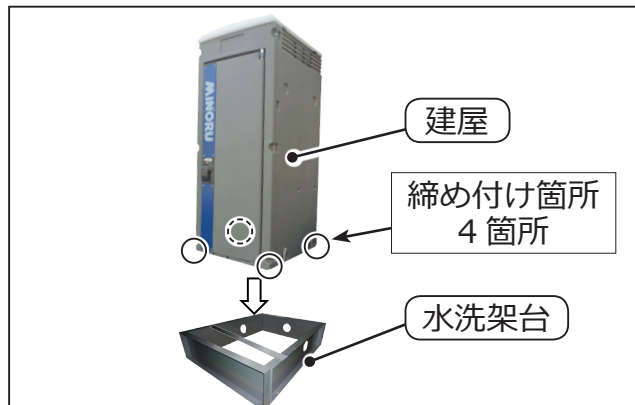
【本水洗洋式 半組の場合】

六角ボルト M8×45 スプリングワッシャー付	4本
平座金 8.5×30×t2.5	8枚
ナット M8	4個
ワンタッチペーパーホルダー	1セット
洋式便器・便座	1セット
樹脂製ロータンク	1個
便座・フタAssy	1セット

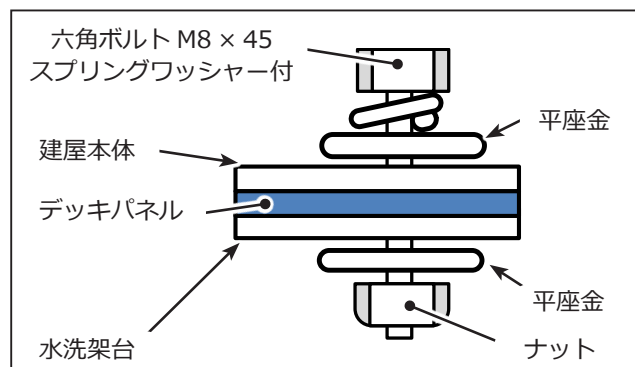
組み立てのしかた【本水洗 洋式】

■建屋の組み立て【本水洗 洋式】

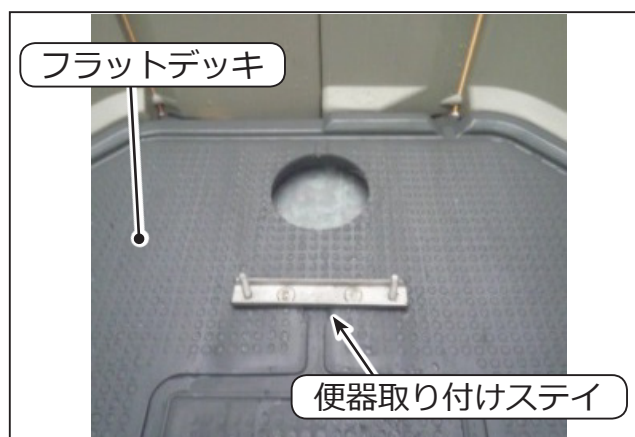
- ① 水洗架台を組み立て（18 ページ参照）、水洗架台の上に建屋を乗せます。



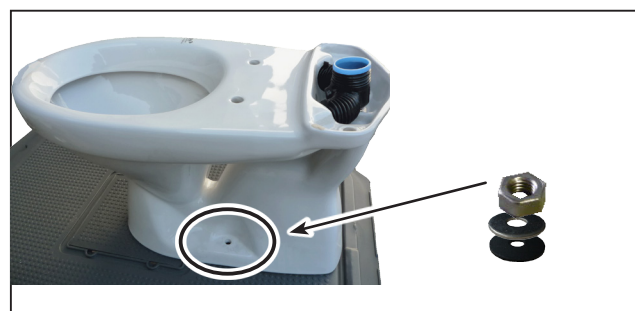
- ② 水洗架台と建屋を、六角ボルト M8 × 45 スプリングワッシャー付・平座金・ナットで取り付けます。



- ③ 便器に付属している取扱説明書を読み、便器を組み立てます。



- ④ 便器取り付けステイのボルトを便器横の取り付け穴に差し込み、便器付属の取り付けネジ（パッキン・ワッシャー・ナット）で留めます。電動ドリルで締めますが、仕上げは手で締めてください。



重要

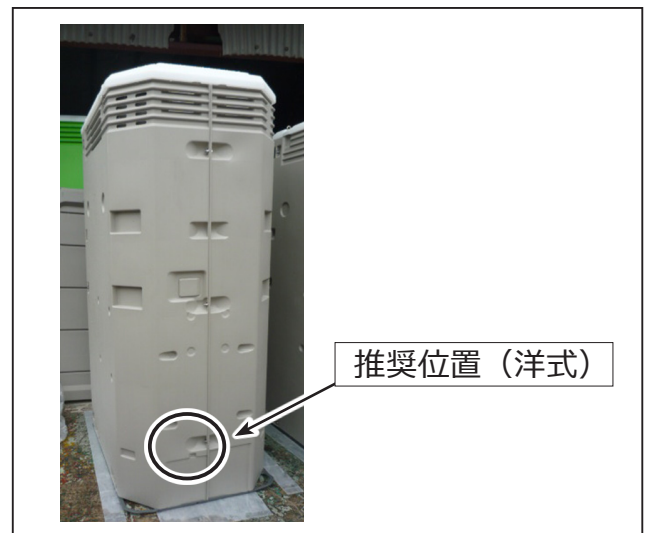
- 取り付けネジを強く締めすぎないでください。ネジを強く締めると便器が割れるおそれがあります。
- 排水管の取り付けは、便器付属の組立説明書を確認してください。

組み立てのしかた【本水洗 洋式】

- ⑥ 止水栓を取り付けます。
止水栓取り付け推奨位置にドリルガイドがついています。
設置される現場に応じて参考にしてください。

重要

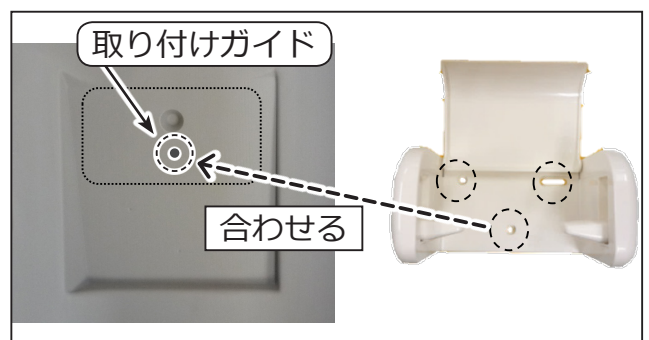
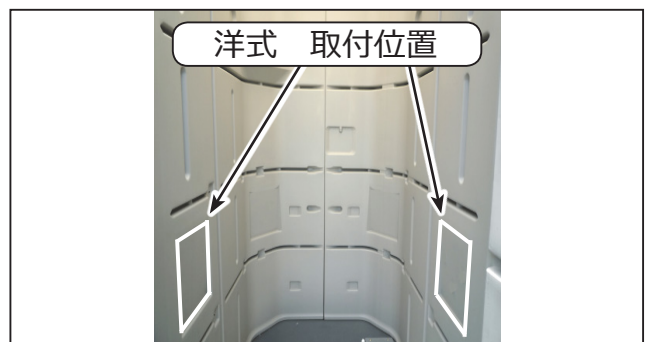
- 推奨位置以外で穴あけを行なう場合は、内外壁が密着している部分を開口してください。内外壁が密着していない部分を開口すると、止水栓の取り付けができないおそれがあります。



■ペーパーホルダー取付位置

ペーパーホルダーは、建屋入口付近の横壁、白線囲み箇所のいずれかに取り付けてください。

建屋壁に取り付けガイド（丸い凹み）があります。丸い凹みとペーパーホルダーの取付穴を合わせてセットし、付属のネジで3カ所をとめてください。



組み立てのしかた【本水洗 和式】

■付属品確認【本水洗 和式】

下記、付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【付属品】

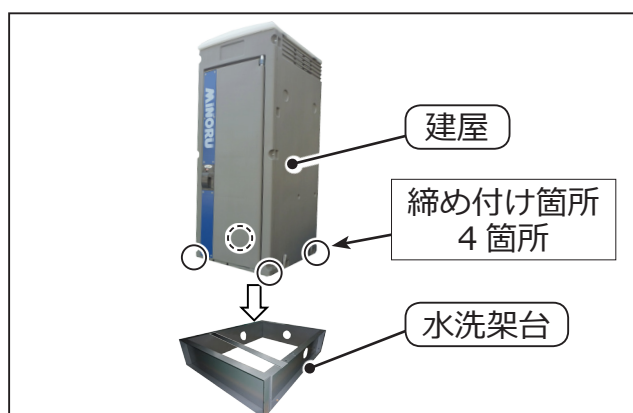
本水洗架台	1セット
本水洗用和式便器（陶器）	1セット
ロータンク（樹脂）	1セット
ロータンク取付金具一式	1セット
U字型手すり	1セット

【本水洗 和式 半組の場合】

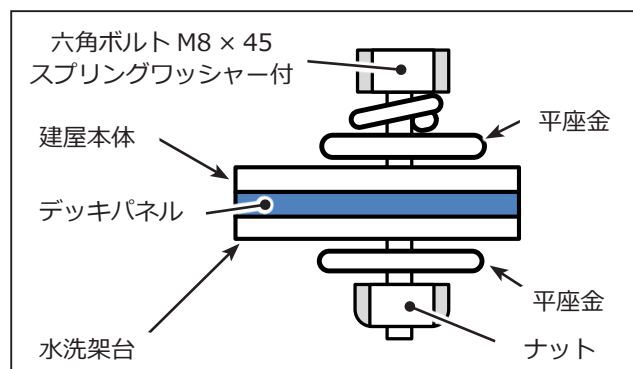
六角ボルト M8×45 スプリングワッシャー付	4本
平座金 8.5×30×t2.5	8枚
ナット M8	4個
ワンタッチペーパーホルダー	1セット

■建屋の組み立て【本水洗 和式】

- ① 水洗架台を組み立て（18 ページ参照）、水洗架台の上に建屋を乗せます。



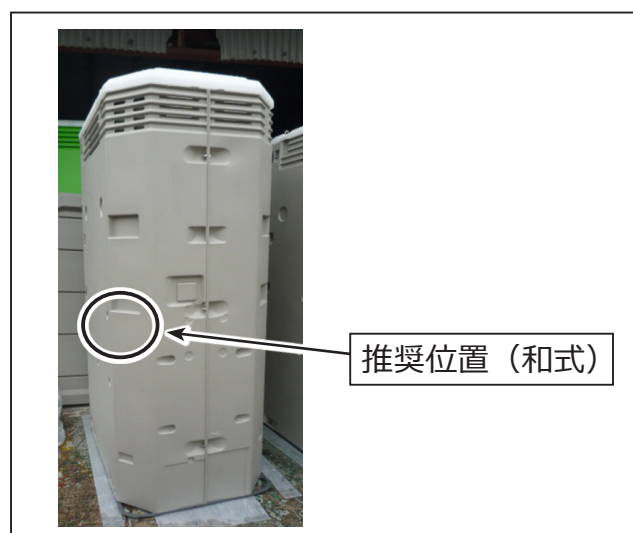
- ② 水洗架台と建屋を、六角ボルト M8 × 45 スプリングワッシャー付・平座金・ナットで取り付けます。



- ③ サイドパネルにフレキ管の穴を開けます。
設置場所により、給水口の位置が変わります。
推奨位置にドリルガイドがついていますので、参考にしてください。

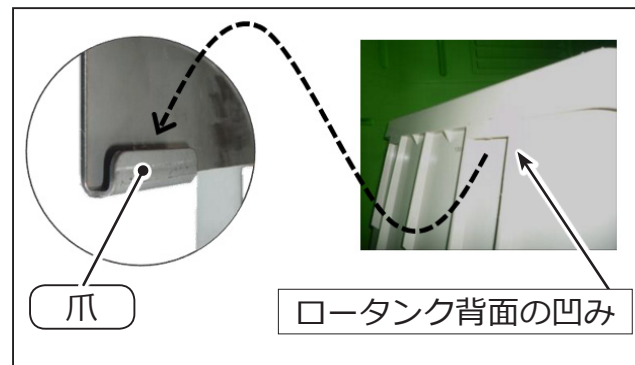
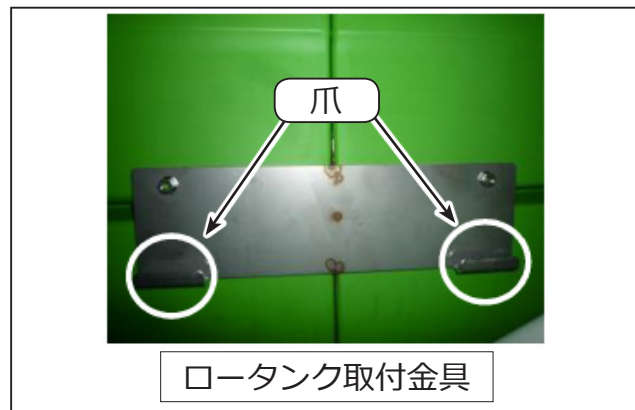
重要

- 推奨位置以外で穴あけを行なう場合は、内外壁が密着している部分を開口してください。



組み立てのしかた【本水洗 和式】

- ④ ロータンク取付金具のツメ部分
(丸印) にロータンク背面の凹みを差し
込みます。



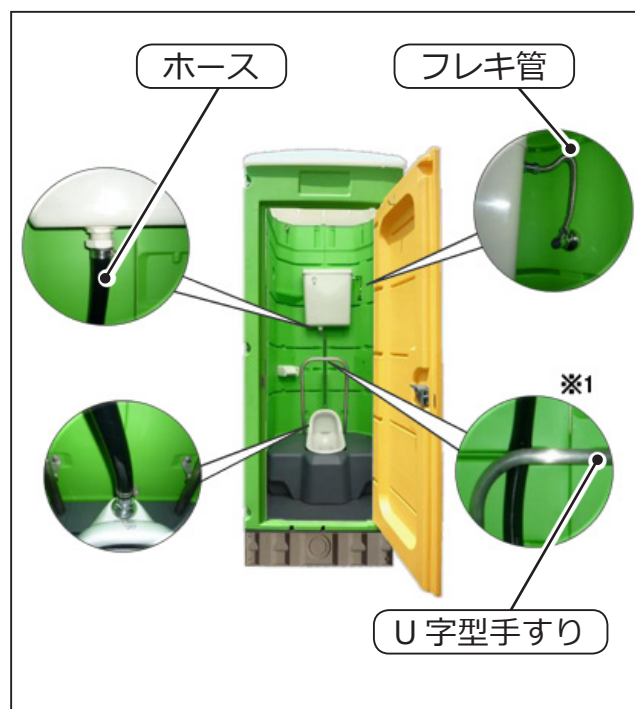
- ⑤ L字ブラケット・平座金・コネジで
ロータンクを取付金具に固定します。



- ⑥ 便器をデッキタンクに乗せます。
ホース・ホースバンド・フレキ管で配
管をします。

※ 1

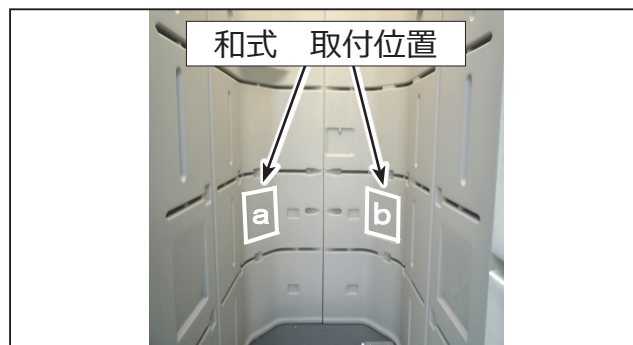
ロータンクから便器へのホースは、必
ずU字型手すりとサイドパネルの間を
通してください。



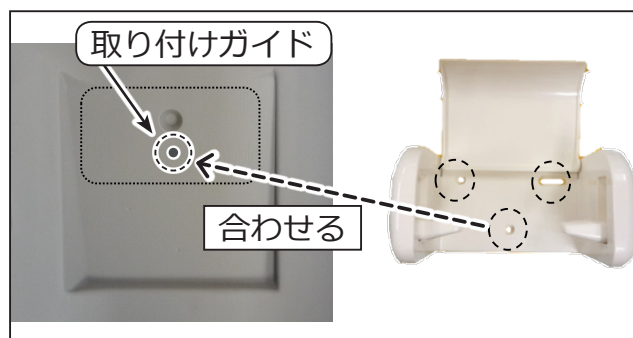
組み立てのしかた【本水洗 和式】

■ペーパーホルダー取付位置

ペーパーホルダーは、建屋入口付近の横壁、白線囲み箇所の a、b いずれかに取り付けてください。



建屋壁に取り付けガイド（丸い凹み）があります。丸い凹みとペーパーホルダーの取付穴を合わせてセットし、付属のネジで 3 カ所をとめてください。



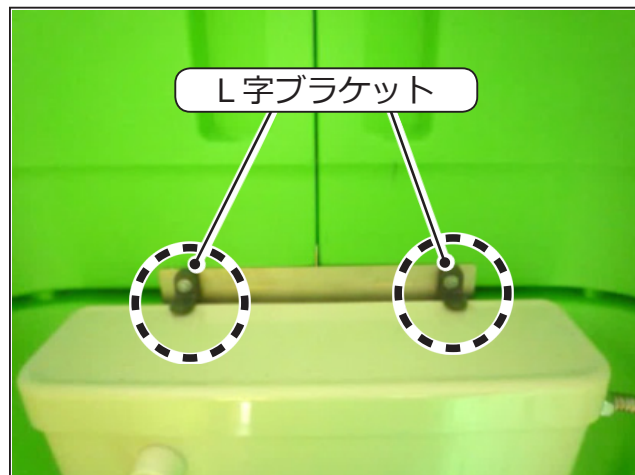
組み立てのしかた【本水洗 和式】

ロータンクのフタの取り外し

ロータンク上部のL字ブラケット（2 個）を取り外します。

重要

- 排水管の取り付けは、便器付属の組立説明書を確認し、取り付けてください。



⚠ 注意

- ご使用前には、以下の内容を確認し、正しく使用してください。
 - ・ ロータンクの上に物を置いたり、力を加えないでください。
 - ・ ロータンクと便器をつなぐ黒ホースに力を加えないでください。
 - ・ 補助が必要な場合は、U字型手すりを使用してください。
- これらを怠ると、破損や傷害事故につながるおそれがあります。

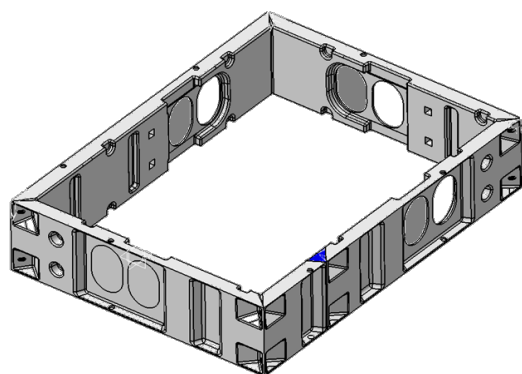
組み立てのしかた【本水洗 男子小用】

■付属品確認【本水洗 男子小用】

下記、付属品がすべてそろっているか、確認してください。

【付属品】

本水洗架台	1セット
男子小用便器（目皿付き）	1セット



本水洗架台



男子小用便器

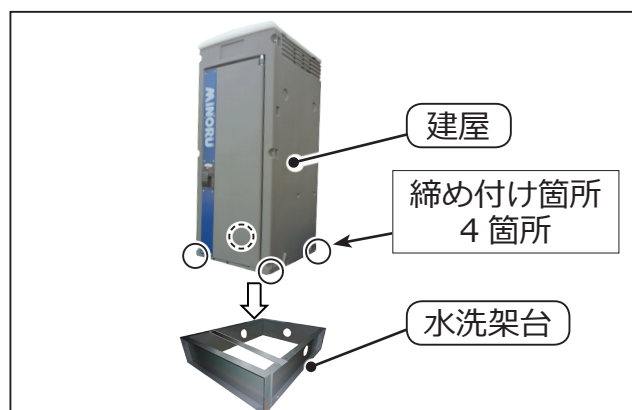
【本水洗 男子小用 半組付属品】

M2本水洗小用フラッシュバルブ取付ステイ	1
トラスタッピング M4*8	4
LIXIL フラッシュバルブ UF-3J	1
TSバルブ用ワット TS13VS	1
本水洗小用ノズルCP (1)	1
フラッシュバルブ下配管	1
TS水洗ワット13TS13WS(1/2)	1
本水洗小用フラッシュバルブ下パッキン CR65°3*φ34*φ21.5	1
防藻ゴールデンソフト 18*60mm	1
板バンド φ11-25 12.7幅 品番6708-5	2
六角ナット M8	2
スプリングワッシャー M8	2
平座金 8×26×2.0	2
フラッシュバルブ取扱説明書	1
本水洗架台セット	1
六角ボルト M8×45 スプリングワッシャー付	4
平座金 8.5×30×2.5	8
六角ナット M8	4

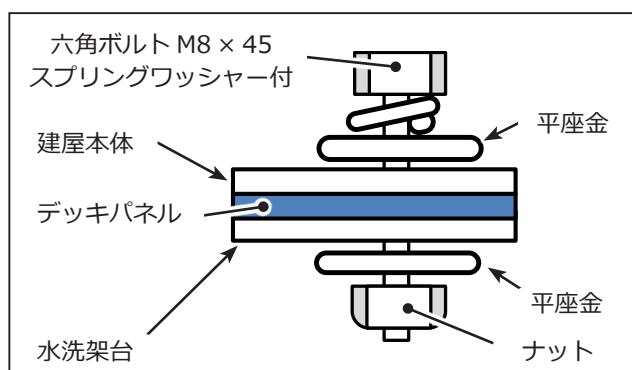
組み立てのしかた【本水洗 男子小用】

■建屋の組み立て【本水洗 男子小用】

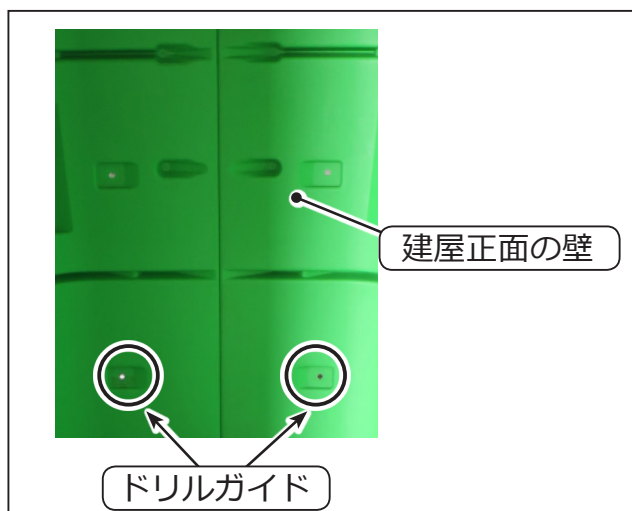
- ① 水洗架台を組み立て（18 ページ参照）、水洗架台の上に建屋を乗せます。



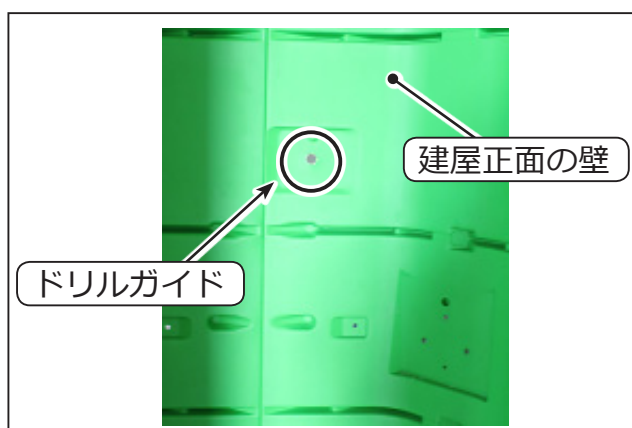
- ② 水洗架台と建屋を、六角ボルト M8 × 45 スプリングワッシャー付・平座金・デッキパネルで取り付けます。



- ③ 建屋正面の壁に男子小用便器背面の取付金具取付穴を開けます。
右図の丸印、ドリルガイドにそって $\Phi 10$ の穴をあけてください。（2箇所）

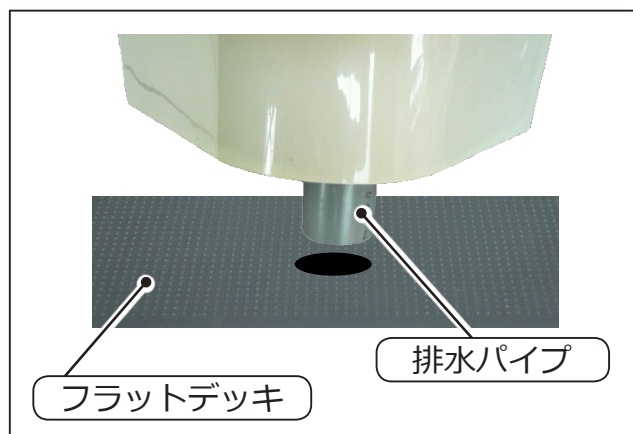


- ④ フラッシュバルブを取り付ける穴をあけます。
右図の丸印、ドリルガイドにそって $\Phi 23$ の穴をあけてください。

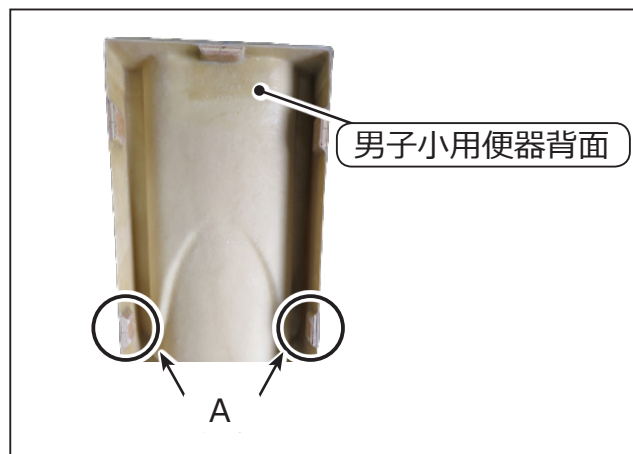


組み立てのしかた【本水洗 男子小用】

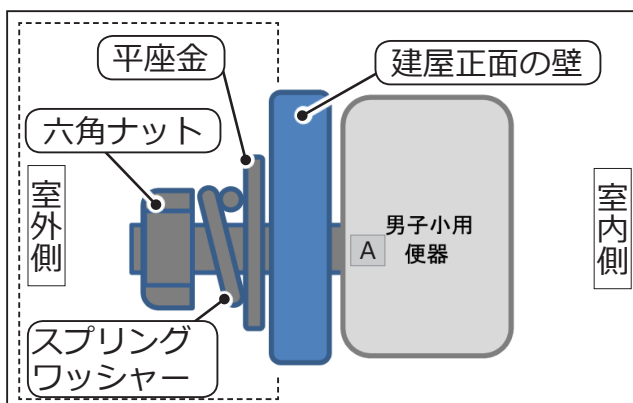
- ⑤ フラットデッキの穴に、男子小用便器の排水パイプを差し込みます。



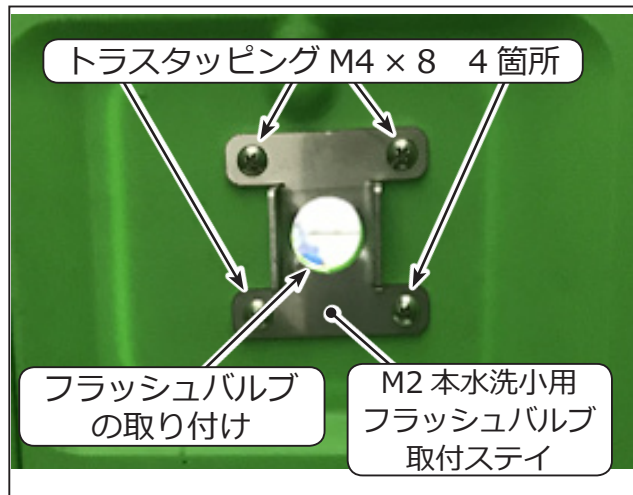
- ⑥ 男子小用便器の背面にある取付座 A と、③であけた穴を合わせます。



取付座 A の金具を、建屋正面の壁へ取り付け、室外側から平座金、スプリングワッシャー、六角ナットでしっかりとめます。

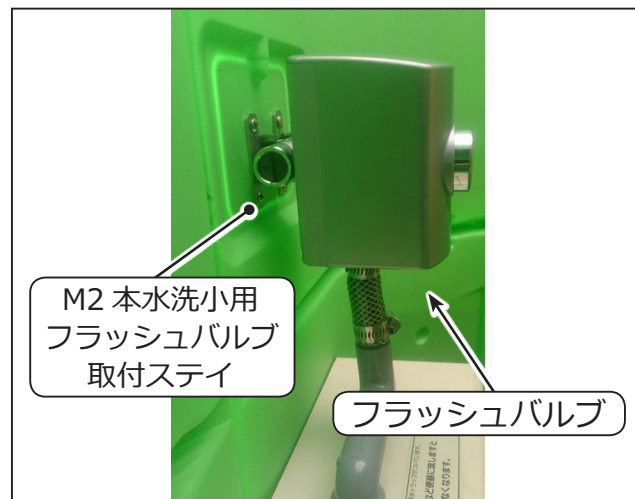


- ⑦ ④であけたΦ23の穴に M2 本水洗小用フラッシュバルブ取付ステイ を合わせてトラスタッピング M4 × 8(4箇所)で固定します。



組み立てのしかた【本水洗 男子小用】

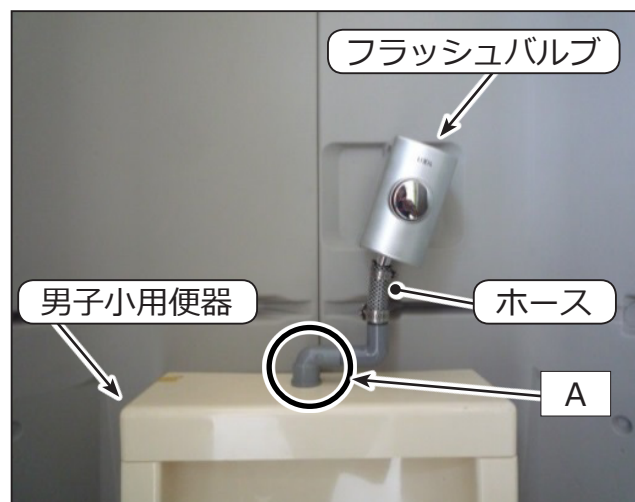
- ⑧ ⑦で取り付けした M2 本水洗小用フラッシュバルブ取付ステイ ヘフラッシュバルブを取り付けます。



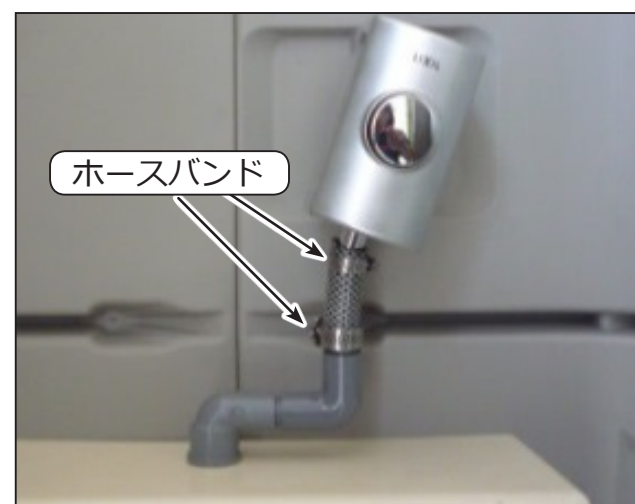
- ⑥フラッシュバルブとホースを接続し、男子小用便器とフラッシュバルブをつなぎます。

⚠ 注意

- 男子小用便器とフラッシュバルブ接続のときは、フラッシュバルブ側で位置を合わせてホースに接続してください。怠ると、Aの箇所が割れるおそれがあります。



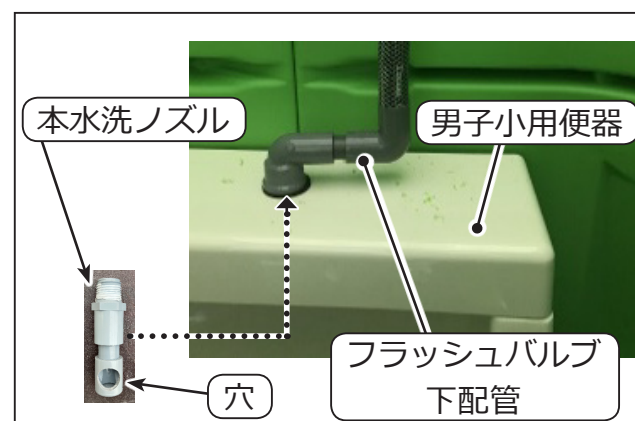
- ⑦ホースバンドのネジを工具で回して、しっかりと固定してください。(2カ所)



- ⑧本水洗ノズルとフラッシュバルブ下配管を男子小用便器に取り付けてください。

- ⑨本水洗ノズルは“穴”を男子小用便器側に向けて取り付けてください。

- ⑩フラッシュバルブの奥に水勢調整スピンドルがあります。工具で回して水勢を調節してください。水を流した時、男子小用便器から水がはみ出さない程度に調節してください。(30 ページ「水勢の調節」参照)



組み立てのしかた【本水洗 男子小用】

■水勢の調節

水勢が強いため洗浄水が男子小用便器から飛び出してしまう場合、または水勢が弱いため洗浄水が男子小用便器全体に回らない場合、下の手順に従って水勢を調節してください。

- ① 通水します。
- ② ボタンを押しながら、水勢調節スピンドルをゆっくり左に回して開けます。

重要

- 水勢調節スピンドルを一気に開けないでください。ダイヤフラムが故障する原因になります。

- ③ ボタンを押した状態で水の流れ具合を見ながら、水勢調節スピンドルを回して水勢を調節します。

右に回す（閉める）⇒ 水勢が下がる

左に回す（開ける）⇒ 水勢が上がる

※洗浄水が男子小用便器から飛び出すことなく、男子小用便器全体に水が回るように調節してください。

- ④ ボタンをはなします。

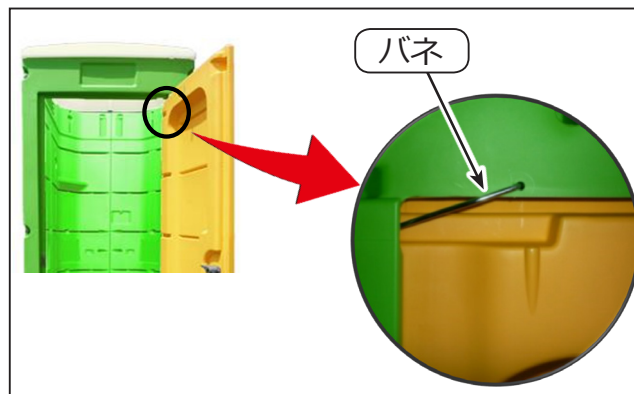
建屋ドアの取り外し

■ドアの取り外し（和式・洋式・小用 共通）

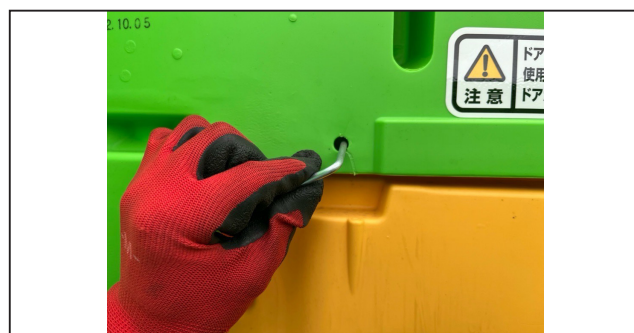
⚠ 警告

- ドアを取り外しのときには、必ず軍手もしくは手袋を着用して作業をしてください。バネ等の部品でけがをするおそれがあります。

① 室内に入り、ドアを閉めます。



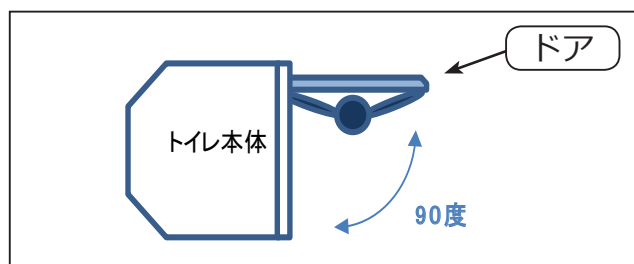
② バネを手前に引き出すようにしてドアフレームから外します。
補助を行いながら、ゆっくりと押し上げてバネを抜いてください。



⚠ 注意

- バネの巻力が強いので、慣れるまでは十分注意して作業をしてください。

③ トイレ本体とドアが垂直になるようにドアを開けます。



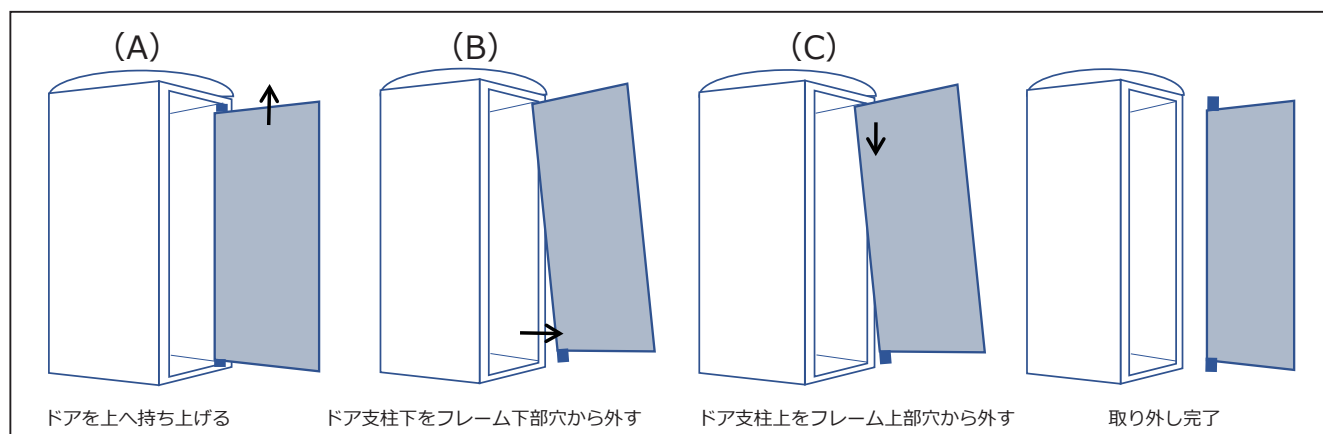
※以下、32 ページ（次ページ） ●ドア取り外し作業 流れ (A～C) 参照

- (A) ドアの室内側を持ち、上へ持ち上げます。
- (B) ドア支柱（下）をドアフレーム下部穴から外側へ外します。
- (C) ドア支柱上をフレーム上部の穴から外します。



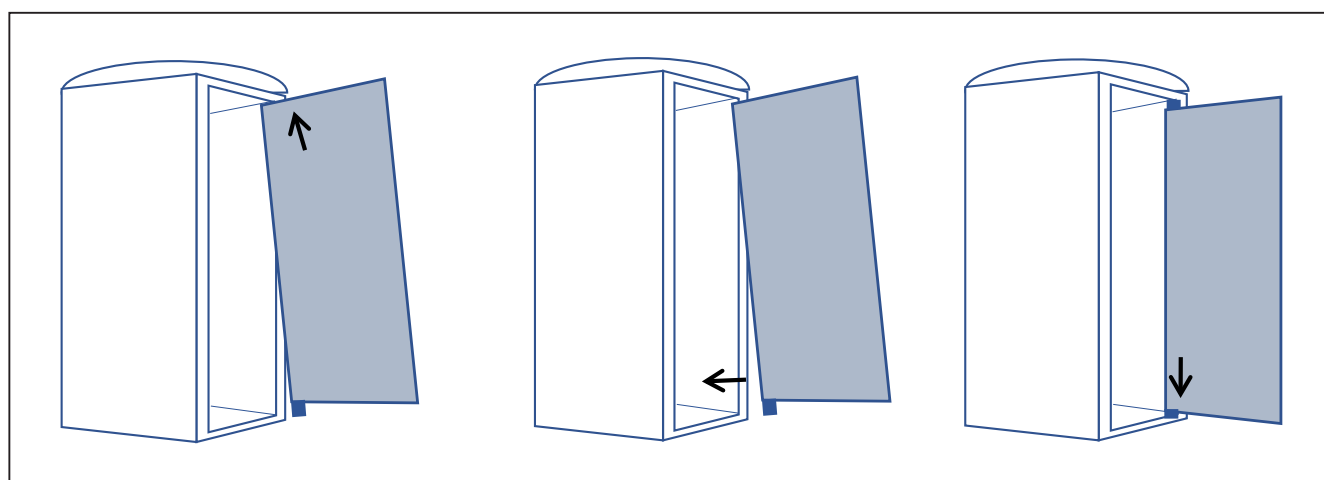
建屋ドアの取り外し

● ドア取り外し作業 流れ



■ ドアの取り付け

取り外しと逆の手順で作業を行います。



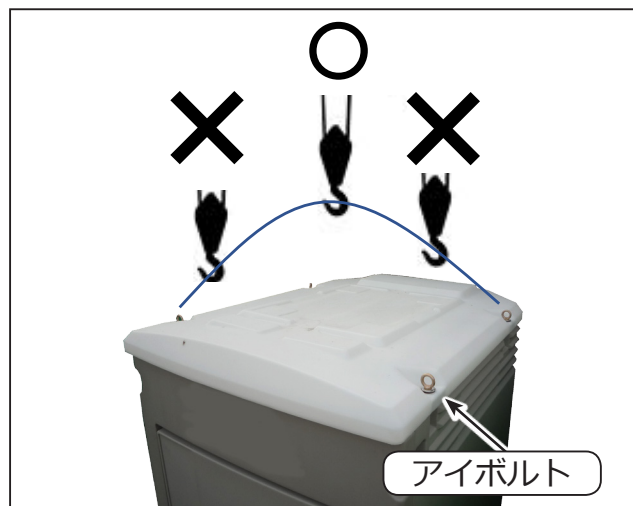
- ① ドアの室内側の左右をもち、トイレ本体に対し、垂直にして、ドアフレーム上部穴へドア支柱（上）を差し込みます。
- ② ドア支柱下をフレーム下部穴へ差し込みます。
- ③ 室内に入り、ドアを閉めます。
- ④ バネをドアフレームの内側の穴にしっかりと差し込みます。



運搬・設置について

■ 運搬車への積み込み、積み降ろし

- ①タンク内をチェックしてください。
水タンク内に水が残っている時には、
ドレンキャップを開けて排水してください。
便タンク内に汚物が残っている時には、
完全にくみ取ってください。
- ②運搬中にドアが開かないようにロック
をしてください。(3 ページ参照)
- ③屋根のアイボルトもしくは側面吊金具
(オプション品)を利用して積み込み
作業を行なってください。
ワイヤー等で吊り上げる場合、フック
が中心に来るようセットしてください。
- ④運搬車へ積み込み、屋根の溝にロープ
をかけて本製品を固定してください。



⚠ 注意

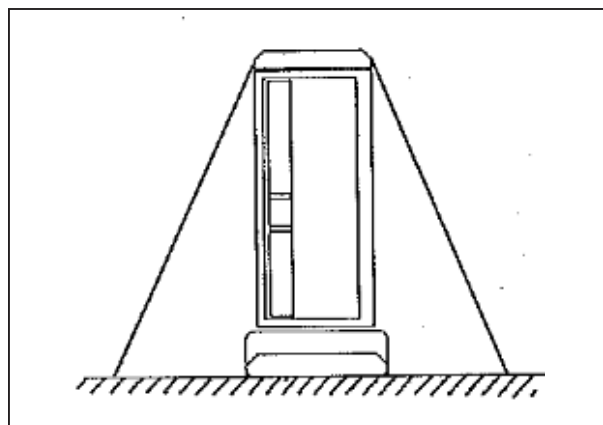
- フックの位置が片寄ったり、ワイヤーが極端に短い場合本品の破損につながります
ので、注意してください。
- アイボルトを使用し積み込み、積み降ろしを行なうときは、クレーン運転有資格者
が行なってください。
- 積み込み、積み降ろし作業を行なうときは、作業員以外本製品に近づかないでくだ
さい。
- 本製品の1点吊り、3点吊りは行なわないでください。重心が不安定となる可能性
があり、危険です。

■ 設置について

- ①本製品を出来るだけ平坦な場所に設置
してください。
- ②屋根にセットされているアイボルトを
利用して本製品を固定してください。

重要

- 本製品を固定するときは、ロープ・
ワイヤー等を張りすぎないでくだ
さい。本製品が破損するおそれがあり
ます。
- 本製品は周囲の照明装置から 10m
以上離して設置してください。照明か
らの紫外線により樹脂の劣化がすすみ
割れることがあります。



運搬・設置について

■設置スペースの確保について

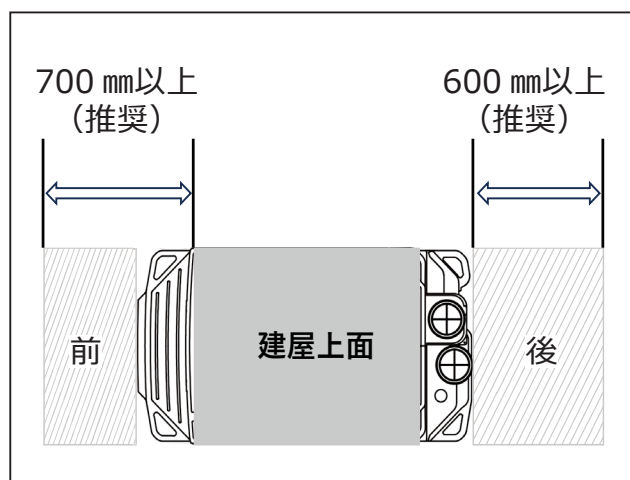
本製品の前後は、ご利用者が出入りするために十分なスペースが必要です。

また、背面はくみ取り作業や給水作業などの支障とならないスペースが必要です。

右図に示すようなスペースを設け、物などを置かないようにしてください。推奨スペースは以下の通りです。

建屋ドア側 … ドアより 700 mm以上

建屋水タンク側… 600 mm以上



保管について

■保管場所について

本製品を使用せず、保管するときは下記の場所を避け、安全な場所で保管してください。

- ・ 海岸付近
- ・ 温泉地
- ・ 動植物の影響を受ける場所
- ・ 凍結のおそれのある寒冷地
- ・ 軟弱地盤
- ・ 強風地域
- ・ 傾斜面

○本製品保管時には必ずドアロックを行なってください。(3 ページ参照)

○転倒防止措置を行なってください。

■その他

○本製品を廃棄処分するときは、専門業者へ委託してください。

○水が凍結する冬場には水タンクの給水口から 60℃以下のお湯を注いでください。

点検整備

⚠ 警告

- 点検整備する時は、次のことを守って行なってください。
安全を確認せずに点検整備をすると、傷害事故を引き起こすことがあります。
- ① 厚手の手袋等、保護具を必ず着用する。
- ② 電気工事などは必ず専門業者に依頼する。
- ③ 給排水工事が必要な製品は必ず専門業者に依頼する。

■ 水タンクの点検

水タンクの水量を確認してください。
水量が減っている場合は、満水になるよう補給してください。

■ 汚物のたまり具合の確認

便タンクのくみ取り蓋を開けて、汚物のたまり具合を確認してください。
便タンクが満杯になる前にし尿収集を依頼してください。
し尿収集までに日にちがかかる場合を考慮し、早めに収集依頼されることをお勧めします。
タンクの半分くらいを目安としてください。

■ 照明

照明が点灯することを確認してください。

■ ドアの点検

ドアが問題なく開閉するか確認してください。

■ ドアロック

室内側のツマミを回し、施錠・解錠されることを確認してください。
施錠・解錠時に室外表示が切り替わっているか確認してください。

重要

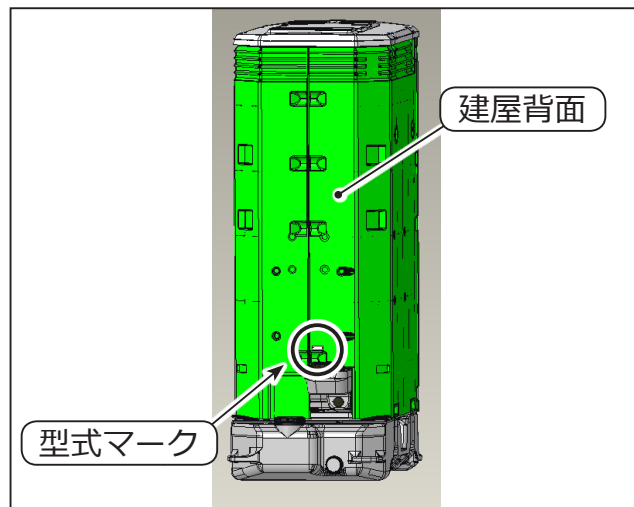
- 専門的な技術を必要とする場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。
異常が見られましたら使用を中止し、新しいものと交換してください。

サービス資料

■ サービスネット

ご使用中の故障や不審な点およびサービスに関するご用命は、販売店にお気軽にご相談ください。その際、製造番号（No.※※※※※）をあわせてご連絡ください。

（型式マーク）



■ 補修用部品供給期間

本製品の補修用部品の供給期間は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給期間内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合があります。

■ 主要諸元

名 称		エコットトイレ みのる M2							
型 式		簡易水洗洋式	簡易水洗和式	本水洗和式	本水洗小用	簡易水洗小用	本水洗洋式	本水洗手洗	非水洗小用
本体寸法	全 幅 (mm)	880							
	全 高 (mm)	2503		2403		2503	2403		2503
	奥 行 (mm)	1580		1130		1580	1130		1580
	質 量 (kg)	105	95	100	85	95		80	85
タンク容量	便タンク (ℓ)	310		-	-	310	-	-	310
	水タンク (ℓ)	85	75	-	-	85	-	-	-
本体材質	材 質	本体/便槽/水洗架台：高密度ポリエチレン 和式便器/ポリプロピレン、洋式便器/陶器、本水洗和式便器/陶器、本水洗洋式便器/陶器、小便器/FRP、手洗器/ポリエチレン							
	成形方法	ブロー成形							

※仕様は予告なく変更する場合があります。

サービス資料

■消耗品・オプション



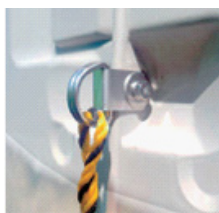
消臭液
1L (10 本入)
部品番号 : ECOT1-18701



棚付きペーパーホルダー



ペーパー用棚
部品番号 : ECOT1-EPC18



中間トラロープ金具



キャップワイヤー



U 字型手すり



手洗いユニット



QC 簡易水洗洋式セット



QC 簡易水洗小用セット



快適トイレ変更セット (M2 用)
(センサーライト、便座クリーナー、
鏡、コートフック、コーナーポット、
快適認定シール)



側面吊り金具



便タンク固定金具



便タンク保護ネット

・ルーフワイヤー



みのろ産業株式会社

本社工場	〒 709-0892 岡山県赤磐市下市 447 TEL(086)955-1123 (代) FAX(086)955-5520
東京支店	〒 337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野 210 TEL(048)683-9451 (代) FAX(048)683-9452
長野支店	〒 389-1104 長野県長野市豊野町浅野 582-4 TEL(026)257-6530 (代) FAX(026)257-6531
徳島営業所	〒 771-1151 徳島県徳島市応神町古川字東 197 TEL(088)641-2311 (代) FAX(088)641-2324
九州支店	〒 818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 1020-1 TEL(092)921-6006 (代) FAX(092)921-6008

ホームページ <https://www.minoru-sangyo.co.jp/>